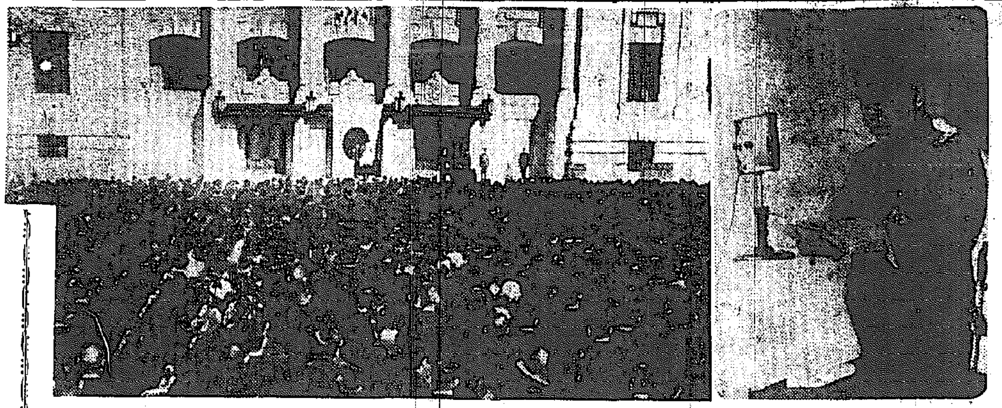
寄贈 13.1. 帝國圖書館

京城日報

千載一遇の聖業に 身をもつて貢献せん

本府御用始式に 南總督訓示



本府の御用始式は例年第一會議室において行はれたものを　本年は特に非常時局、北支にある皇軍の苦難を偲ぶため本府正面玄關前廣場を式場とし四日午前十一時から嚴かに行つた、正面車寄に日の丸の大國旗を張り、南總督以下本府各局部課長　外局々長　在城本府第一次所屬官公署長以下職員三千名が零下十度の廣場に整列する定刻十一時、碓井人事課長の開式の辭に次ぎ　東方に向ひ遙拜　次いで國歌合唱裡に國旗を掲揚　次いで軍服姿の南總督は別項の如く一同に對し昭和十三年劈頭における官吏としての覺悟と國民精神總動員に就いて約三十分に亘つて力強き訓示を行ひ　これに對し總督代理吉田鐵道局長答辭を述べ　更に吉田局長の先唱により「皇國臣民の誓詞」を奉唱して式を終つた【寫眞は訓示する南總督と本府玄關前の御用始式】

訓示

茲に　光輝ある昭和十三年の年頭、御用始めに際し、一言所懷を述べて各位の注意を喚起致したいと思ひます

◇

畏くも　天皇陛下におかせられましては一視同仁の政務と共に大元帥として大本營に親しく全軍の御統帥を遊ばされ御多端に拜せらるる事は誠に恐懼感激に堪へない次第でありますが、玉體益々御安康に渡らせらるる事は我等臣民として眞に欣喜に堪へざる所であります、茲に恭しく聖壽の無窮を壽ぎ奉る次第であります

◇

現下我が帝國は前古未曾有の重大時局に直面し、茲に對支事變第二年の新春を迎へ國民擧つて天業恢弘の大業に邁進すべき秋なるに鑑み帝國臣民の覺悟に就て二、三の所信を述べて各位の了得に俟ちたいと思ふ

第一◇は本年に於ける時局の重大性を的確に認識することである。皇軍は毎戰捷を奏し北に在つては敵を黄河以南に壓迫し南に在つては上海、南京、杭州既に陥り大に勇武を中外に顯せり、蔣政權は今や全く沒落して北支には親日防共、赤化防衛を目標とする新政權の成立を見、中支亦其の機運に在り、故に現下の情勢を以てすれば事變は既に峠を越え重大危機は早や解消しかゝつたといふやうな印象を與へるのでありますが、然しながら道は、支那事變を以て單に日支兩國間のみの出來事であると觀方であつて決して其の眞相に觸れたものでない、成る程ど事變は盧溝橋畔に端を發したのであるが、支那蔣軍の裏面に在つて之を操り、武器を供給し容共抗日を事として抗日侮日に導ける者は何者であるか、而して夫等が今後何を爲さんとしつゝあるかを正視しなければならぬ、長期抗戰を策謀して我が國力の消耗を待ち、機に乘じて我が戰果を覆へし、以て思想侵略、經濟侵略の企圖を遂げんとする第三國無しと斷ぜられない、故に我が國民として徒らに戰勝の光榮に醉ふことなく、勝つて兜の緒を締め直すべきは今である、即ち時局の複雜性と深刻性を洞察して擧國一致堅忍持久の覺悟を新にすること、之れ昭和十三年に課せられた國民的命題であります

第二◇は國體觀念を明徴ならしめ國民精神を愈々昂揚せしむることである、我が皇軍の百戰百勝の戰績は中外の等しく驚異とする所であるが支那軍も亦決して弱くはなかつた、歐米の軍事專門家は支那軍を評價して歐米の何れの軍隊にも劣らない有數の精兵であると賞讃した程であるが其の支那兵に對し連戰連勝を博したる皇軍の威力は實に我が萬邦無比の光榮を有する皇國に生を享けたる國民としての國體觀念から湧き出づる所の偉大なる精神力であります、先般ヒツトラー總統の某日本人に話せる言葉の一節に自分も曾ては軍人であつたから用兵戰鬪の事には經驗があるが原則として攻擊軍は防禦軍に對し二、三倍の兵力を要するものである、然るに日本軍が常に寡勢を以て衆敵に當り毎戰必ず勝を制する所以の者は如何なる原因理由に依るか、專門家に調査を命じて居るとの事であつた、之れは恐らく我皇軍將兵の精神力に關心を持つた意味であらうと思はるる、由來獨逸は日獨戰後日本の歴史特に國民精神に深刻なる研究を爲しつつあることは識者の夙く承知し居る處である、今次皇軍の必勝は即ち國體觀念に基く精神力之の發揮に外ならぬ、然らばその精神力は何によつて起るかと申せば　明治大帝の御製に拜する「事しあらば火にも水にもいりなむと思ふがやがてやまとだましひ」之であります、君民一體にして忠孝一致、君國の事に殉して己れを忘れ身も心も國家全體の意圖、目的のために捧げ得る信念に外ならないのであります、而して此の信念は單に知識を透して培ひ得らるゝものではない、永い國民生活の先天的傳統であると同時に、各人の修練と體驗、實踐を通じて來るものである、僕へ神宮を參拜して森嚴、崇高なる神域のあたりに磅礴として湧く靈氣に打たれ、瀰然として神人冥合の妙機に觸れる、そこに國體の尊嚴を體得し、世界に比類なき日本國民たるの感激を覺えるのであります、現下重大時局に直面して國民としての奉公の誠を最も切要とするに際りて、吾等半島在住の官民は益々國體觀念に基く精神力の昂揚を期せねばならぬと思ひます

第三◇には帝國の國是遂行の本旨を知り、堅忍持久、飽く迄之を貫徹するの用意に就てである、東亞民族の協和を基として、東洋は東洋人の手に依り道義的な平和機構を招來建設することは、我が帝國の國是であります、有史以來日本は常に此理想の下に平和的手段を以て國是の實現を企圖し來つたのであるが、之を妨害するものある時は彼は干戈に訴ふるの止むを得ざる事あり例へば日清、日露の兩役、滿洲事變、今次の支那事變の如きである、而も帝國の要望する所は常に東亞民族の安全と福祉を實現するにあつたのであります、現にそれは朝鮮統治の實績によつて證明せられあるが如く又日滿一體の實績に顯現して居るのであつて、何人も此の嚴たる事實に對して眼を掩ふを許さないのであります、我等は此の理想と信念によつて建設し來れる平和機構を更に支那國民黨の苛政、共產黨の迫害に泣いて居る四億の民衆に推し及ぼし以て相互に恒久平和の成果を納めんとする國策に立脚しつゝあるのであります、從て此の精神と國是とは、有色人種の搾取壓迫を自己の特權と心得來れる者共の到底理解し得ざる所である、我々は人道上絕對に正義なる此の信念を堅持して此の遂行に努めつゝあるのであります[illegible]何人の如何なる仕事に於ても[illegible]無氣力に流れ易き[illegible]のである、今や世界は一大轉換期に直面して居る、此際東洋道義を發揚し皇道を宣布するは我が帝國が天より課せられたる重大使命である、我等國民は此の大切なる時局に直面して全國民が國を舉げて協力一致し個々盛なる精神力を發揮して堅忍持久の態勢を採らねばならぬ、此のことが皇國の偉力となつて敵を屈服し、第三國の野心を封じ[illegible]最高の途であります

以上◇三點は帝國と[illegible]此の昭和十三年の年頭、[illegible]ある而して此の信念を實踐に現はすには各人日常の生業、勞務の間に全身の魂を打込んで國家の目的のために各自の仕事を活かして行くにある、歴代天皇を首め奉り、父祖先輩の遺業を完成し、且つ東亞民族の子々孫々にまで平和の樂土を相續せしめんとする此の千載一遇の偉大なる聖業に身を以て貢獻するの感激の下に內鮮一體、官民一致の結束の力を以て統治の美果を舉げ、銃後の任を完うして行くを一にせんとする精神的態度で私の特に切言して各位と共に心に要求するものであります

茲に各位の健闘を切望して私の訓示を終ります

政治始の御儀

事變下に嚴肅に政治始の御儀は四日宮中においていとも嚴肅に行はせられた、近衛首相、平沼樞府議長、松平宮相以下各國務大臣等は何れも通常服通常禮裝に威儀を正して午前十時半前後して參內、宮中東一之間に參通したが、午前十時　天皇陛下には御通常禮裝を召され、松平式部長官御前行中上げ、湯淺內府　百武侍從長、宇佐美武官長以下を從へさせられ出御　玉座に着御、近衛首相は正面中央の玉座に進み、昨年中神宮のこと滯りなく逐行せられたる旨並に各廳のことを奏上し次いで松平宮相は宮中のことを奏上し奉り目出度く御儀を終へさせられた。

大本營下の政局 【一】

城南隱士

切迫した國內事情

寡頭政治による國家の硬化は、日本の特殊事情にもよるが、一つは又世界の大勢に餘儀なくされて居るにもよる。

日本の特殊事情と言ふのは何か。それは日本民族が內部的にも對外的にも、一人前に成長して衣食住共大人並に更めねばならん、轉換期となつたに拘らず、政治の衝に當つて居つた政黨がその變革を遂げ得なんだがため　政黨は過去られ、國民の本能が寡頭政治に移つて行つたにある。議會政治の初期には、まだ封建時代の奴隷的根性と大して變らなんだ國民大衆は、今は國家の生活力の源泉となり、その力を自覺して來た。それにも拘らず、政治は大衆の生活と殆ど變遷なき有樣ぢやつた。農民にしろ大多數の勤勞生活者にしろ、その生活は永遠の赤字、希望と言ふものは與へられて居らん。六十億の農村借金と一年十億の肥料代の下で、どうして農村に光明があらうぞ。政黨政治はこれを解決する力もなし、解決しようと考へすらしなかつた。政黨の腐敗や幾多ののもんが、國民大衆と縁がなく、むしろ特權階級と財閥繁盛いのぢやから、これは無理もない。過去に拘らず、思ひ切つた大鉈の揮へる政治は政黨では出來ん。政黨と縁の無い、新しい政治勢力か、然らずば寡頭強力政治となる外ない。

衰亡と發展の岐路

對外的には又日本の國民的大發展が、歴史上の大事實として現はれた。單に人口の膨脹ばかりぢやない。その文明の高さ、民族的力量から言うて、世界の第一流國にまで成長した日本は、生物の本能として海外に發展し始めた。發展しなければ衰亡、最後は滅亡する外ない。力ある民族が、世界の廣い天地に向うて驥足を伸ばすのは、これは神の掟と言うていゝ。

併し、世界は日本の發展に對して、各自に繩張りを固持して一寸も入れる事を承知せん。日本の人口密度は一平方粁に三百六十人、濠洲などは只の二人、スマトラ邊りが五六人に過ぎん。英國や和蘭などがその土地を取上げた歴史から言うたら　土地を寄越せと主張しても差支へはない位ぢやが、日本は領土など欲しがつた事は一度もない。只その使用權を公平にしてくれと、移民の自由を求めるが許さん。せめてその資源を分配してくれと頼んでも、これも無條件には許さん。國民の血と精神力を打込んだ商品を輸出すると、これは關稅の障壁で追つ拂うて終ふ。印度でも、南洋でもアフリカでも、安い日本品は買はされず、高くて粗惡な英佛等の品物を强制的に買はされて居る。

この調子ぢやと、日本はこの島國で、やがて一億にもなる人口を抱へ乾干しになる外ない。生存か。生存するためには、外國の繩張り觀念を打破し、少なくも勢の自由な販路としてもらはねばならん。政黨はこの外國の繩張り觀念に屈服し、ある時代には滿洲からさへ退却しようとまでして居る。國民の生命發展力が、軍部の力となつて滿洲事變を演じて、政黨の力を沒落させたのぢや。

國內の現狀に滿足する階級を代表する政黨には　國民大衆の窮迫など分りはせん。況んや日本民族の歴史的な發展など分るものぢやない。政權爭奪と利權に血道を揚げて居る中國民の成長がその足許を爆破させて了うた。そして所謂寡頭政治以來の變態政局となつたのぢやが、この大轉向を遂行するには古今の歴史の示す通り、寡頭政治となるのは自然の勢ひと言はなならん。そしてその政治は、周圍の繩張りを打破し、和國、鄰國をも押破るためまづ武力、強化を圖らねばならず、現代の戰爭が國力全部の鬪爭となつた以上、國家全體の國防的編成、即ち國の要塞化とならざるを得ん事になる。（つゞく）

續々各地を占領

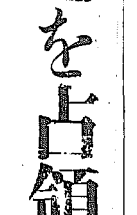
津浦線南下の各部隊

【濟南三日同盟】津浦線西側を前進中の沼田部隊は潰走する敵を驅散らしながら二日肥城南方七里東首府附近南側の山地より抵抗する敵約二千と激戰の後これを殲滅、また界首西北方王莊附近の敵を南方に潰走せしめて三日朝大汶口北方に達し進撃中である、一方稲葉部隊は二日午後泰安南方四里張家莊を突破して三日[illegible]に達し石田部隊は博山より泰山脈の險たる青石關を拔き峨々たる山脈地帶を突破して二日正午吐糸口鎮に達し引續き進撃中である

【濟南三日同盟】南方に潰走する敵を追撃中の沼田部隊は二日午後一時三十分儀陽（肥城南方十キロ）また福榮部隊は同時刻安駕莊（泰安西南十三キロ）を各占據、更に三日午前十一時三十分大伯（博山西南方十二キロ）を占據した

明年度豫算に就て

大野政務總監歸任談



上京中の大野政務總監は四日午前六時羽田發飛行機で天谷秘書官を帶同[illegible]四日午後歸城した、大野政務總監は明年度豫算編成その他について次の如く語つた【寫眞は大野總監】

明年度豫算は十一日の夜遲くまでかゝつてやつと決定した、豫算額五億五百萬圓は施政以來の記録であらう、大藏省と折衝の結果願書の方は大部分が認められたので、これによつて諸般の施政はいろいろな仕事が豫定通りに出來ると思ふ、半島にとつて最も喜ばしいことである、公債の主なるものは鐵道の改良費七千萬圓と電氣關係の一千萬圓だ、これは四ケ年繼續事業で主として送電線架設費に充てられるものである、教育關係でも大學、專門學校、學校の新設增設豫算が全部認められ、殊に城大に新に理工科が出來たことは地下資源の多い朝鮮にとつては慶賀に堪へない次第である

ル米大統領の教書

【ワシントン三日同盟】ルーズヴエルト大統領は三日正午開會の議會に教書を送り一般國政に關する政府の方針を明にしたが大統領は午後一時半恒例により上院における上下兩院合同會議に臨み自ら教書を朗讀　これはラヂオを通じて全米に放送された、全文四千語の中最初の五百語は外交政策に亘つたが極めて總括的に現下の國際危機に對應するため國防充實の必要を力說し、世界政治におけるデモクラシーの終結の勝利を豫言したのみで更に具體的政策の說明を避けて居るが失業者は尙多い今日完全な豫算の均衡は不可能なる旨聲明した

米艦隊砲擊[illegible]

【サン[illegible]】アメリカ[illegible]艦隊に來る[illegible]月における年次大演習[illegible]に亘り南カルフオルニヤ沖で砲術演習を行ふことに決定三日觸艦相倣んでサンデイゴ及びサンペドロ兩軍港を出發した

明治町覺書

▲戊寅新春を迎へ謹んでお祝申上げる新春劈々單析の香も冴えて活氣ある初立會をみた▲春商人氣旺盛裡に越年したのであるが主力株は一齊呆けである實年らしくもないと云ふ勿れ伸びんとするものは先づ屈せよで相場は之でよいのだと思ふ▲國民政府は最後のもがきをみつゝも依然として長期抗日を叫んでをり時局は益々重大さを加へてある國民政府相手の戰爭ではない來るべきものに備へる爲めのものである事を思へば警戒が先に立つと云ふ▲一方今年こそは國威宣揚の大相場が出るんだと强氣はカンくに張り切つてゐる今年は波瀾重疊の相場をみせるだらう▲昨年もだつたが時局を最もよく認識しその動きを達見し得る者でないと今年の相場には勝てないのだ强弱を持つ前にまず時局に深く思を致すべきだ

正米初立會

【仁川電話】仁川穀物立會所恒例の初引は四日午前十時より開始先づ加藤會長三國盃を代表して年頭の祝辭を述べ一同乾杯後丸七仲立組合の音頭で總べて祝慶裡に移り左の値段を以て取引された

本日朝刊十二頁

期米　先高人氣旺盛に　新甫上鞘發會　大活況を呈す

前場　吉例の初會は四日午前九時十分から開始せしが一般の好況に地方客は續々と押しかけ市場は立錐の餘地なき盛況であつた定刻の鐘を合圖に秋山常務理事を始め平岡支配人其他係員は拍手に迎へられて高場に現れ先づ秋山理事の年頭の祝辭を述べ引續き十二年中實賞及び受渡米に對する優秀取引員の表彰式が擧行し了つて取引員組合長の答辭あり次いで取締店員の表彰式を行ひ終つて立會に移り新春劈頭の第一鞘新と共に忽ち手は入り亂れ當三十一圓三十八錢中三十一圓三十五錢と寄付き新甫三月限は三十一圓六十錢と中限より二十五丁の上鞘に發會し逆鞘先高氣を人場面を呈し昭和十三年度の米界は劈頭より波瀾含みの商狀に目出度初立會を終了した

押目買の人氣

年末年始の暗り中正米は産地の買物薄に手堅い商狀に推移し所に期米の如きは中盤以下の買付一巡と大農筋の買惜みに依り反對に引締り商狀であつた從つて後市場に於いて前途を樂觀する者が多くこの邊押目は買はんとする人氣が伏在してゐる狀態である

表彰取引員

四日の初會を下し取引所から表彰された取引員は左の通りである▲實賞最高者　一等實取引店一七九二、六〇〇石二等實取引店一二、六七〇、九〇〇石三等實取引店一〇、一三四、四〇〇石四等實取引店八、五四五、二〇〇石五等實取引店五、五九九、九〇〇石▲受渡米最高者　一等實取引店八三、三〇〇石二等實取引店四三、二〇〇石三等實取引店三八、四〇〇石

店員表彰

朝取仁川支店取引員は四日の初會を下し勤續店員に對し左の諸氏に表彰並に賞品授與式を行つた　二十ケ年勤續者[illegible]▲十五ケ年勤續者[illegible]▲十ケ年勤續者[illegible]▲五ケ年勤續者[illegible]

朝取取引員　白井商店　電話代表本局三二二〇

仁川正米市況（丸七仲立組出來値）

▲玄米三等建　銀　三一五〇　穀良三一五〇　多摩三二〇〇　神力三一四〇　北三一四〇
▲鮮　三等建　多摩　八七〇　銀　八七〇　穀良　八六〇　神力　八四五
▲大豆三等建　陸山一九八〇　前磨一九四〇　汝山一九六〇　釜山（持合）[illegible]
大邱（小[illegible]）[illegible]　群山（小[illegible]）[illegible]

株式　凡調に發會

自重氣分濃厚で　朝新に買氣潜在す

前場　戰捷の新春を寿ぐ今朝の初立會は午前八時廿分より開始されたまづ實賞高受渡高による取引員の表彰を行ひ荒井理事長の發聲で一同乾杯を了り荒井理事長より年頭の挨拶之に對し新田取引員組合長の答辭あり、山崎市場監督の撃柝の音に朝取より立會開始地の呆けを入れて朝取九三圓三と五安朝新三六圓二と二高大新九八圓四と五安新東一七一圓八と五安日產八四圓九と四高鐘紡一二八圓九と三安日產六八圓五拓新三三圓二と寄附あと阪地の手同き移りに東一圓五鐘紡二圓八大新九圓五と噪りを呈したが買氣分濃厚に

出足頗る穩健

戰捷の春を寿ぐ率は街に滿ちてゐるが今朝の新甫は主力株の一齊呆けであつた時局大化の戰況氣分があるからだ然し閑が中氣配が鳴かつた反動とも見られるから見場の先行は惡くはあるまい蔣介石は完全に赤魔に躍らされてゐるが抗日策略を爲たる香港廣東を叩き潰さぬと稱甘然しこの二大策源地は英米及び蘇國の利害關係が錯綜しゐるので廣東攻略あり[illegible]とはいつもこの點が頗る重大視されてゐる相場に仰力がついて來ないのもこの反映であるだが事變の進展につれて國威宣揚相場が出るとの見方が強いから逆潮に弱氣は禁物であらう

表彰取引員

四日の朝取初會に於いて表彰された取引員は左の如し（實賞高順）一等東亞證券▲二等新田商店▲三等三田原商店▲四等明和證券▲五等大原證券

國債　樂觀人氣　一齊高

【東京電話】金融情勢は依然樂觀されてをり且つ國策事變のことゝて大藏御低償買出が呆人氣を死分利一圓三十錢高、四分利その他も十錢方上向き外貨債は佛貨十一高、米六分半一圓高、五分半七十錢高となつた

株式（四日）

朝取短期（前場）

銘柄	寄付	大引	高値	安値
朝取	九三・三	九三・九	九三・九	九三・三
同新	三六・二	三六・八	三六・八	三六・二
大新	九八・四	九九・〇	九九・五	九八・三
東新	一七一・八	一七三・五	一七三・五	一七一・七
日產	八四・九	八五・六	八五・八	八四・九
同新	—	—	—	—
日立	六八・五	—	六八・八	六八・五
商船新	—	三六・五	三六・五	三六・五
拓新	三三・二	—	三三・五	三三・二
鋼管	—	—	—	—
鐘新	一二八・九	一二九・九	一二九・八	一二八・九
日窒	—	—	—	—
製鐵	—	—	—	—
昭石	—	—	—	—
北鐵	—	—	—	—

朝取算定と日步

銘柄	算定	日步	代引
朝取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日窒	[illegible]	[illegible]	[illegible]
拓新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]

朝取短期建玉表

銘柄	賣方	買方	建玉數
朝取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]

短期一〇・七五〇　累計[illegible]枚

大株長期（前場）

銘柄	寄付	大引
東新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
大株	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]

大株短期（前場）

銘柄	寄付	大引	高値	安値
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日魯	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日レ	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
豐達	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鋼管	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日魯	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株長期（前場）

銘柄	寄付	大引
東新	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
三菱	[illegible]	[illegible]

東株短期呼合

銘柄	寄付	大引	高値	安値
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京現株

銘柄	賣	買	取組高
滿鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東拓	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
富士紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]
王子	[illegible]	[illegible]	[illegible]

朝米（四日）朝取仁川（前場）

	當限	中限	先限
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大引	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京期米（前場）　大阪期米（前場）　各地期米（前場）

[illegible]

商品（四日）

大阪綿絲　一月限　七月限　[illegible]
大阪棉花　[illegible]
▲現物價格　[illegible]
横濱生絲　[illegible]
大阪人絹　[illegible]
東京人絹　[illegible]
福井人絹　[illegible]
下關　釜山　大邱　群山　木浦　前浦　[illegible]

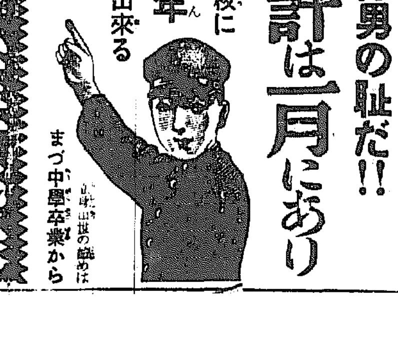
外電（四日）

倫敦金塊　倫敦銀塊　米棉　印棉　スチール株　アチコンダ株　米日爲替　英米爲替　[illegible]

金融（四日）

東京コール　[illegible]
日銀報告（三日）　發行高　正貨準備　保證準備　貸出高　[illegible]
鮮銀報告（三日）　發行高　正貨準備　保證準備　[illegible]

無學は男の恥だ!!
一年の計は一月にあり
自宅を學校に僅か一年で卒業が出來る
まづ中學卒業から
立身出世の第一歩は



最新 中學講義錄
本日一 どこよりも會費が安い どこよりも卒業が早い どこも平易で分りよい 新學期開始・入學の最好機
諸君！頭上に輝く[illegible]
中學

◇小學校 だけを年々出る方は何十萬人とあるが、不幸にも家庭の事情で上級の學校に行けず、スグ實社會に出る人や家業の手傳ひをする方が澤山ある。かゝる有爲の若人が、小學校卒業の程度で甘んじ一日を過す事は實に惜しい。人のためのみならず、將來時日本のためにも惜しい事だ

◇今日の 實社會で成功するには實際小學校を卒業しただけの學力では充分でない。どうしても中學程度の學問がなければ官公署や會社に入るにも實業家になるにも決して大成しないのみならず、將來の生活さへも不安である。本春一月入會すれば

◇學科目 は左の通り。
▲修身 ▲英語 ▲幾何 ▲公民科 ▲英文法 ▲三角 ▲國文 ▲英作文 ▲博物 ▲漢文 ▲英習字 ▲物理 ▲作文 ▲歷史 ▲化學 ▲習字 ▲地理 ▲農業 ▲文法 ▲算術 ▲工業 ▲圖畫 ▲代數 ▲商業

講義は最も平易に何れも多年の經驗者であるから獨學で勉强の最良の方法として、全く一讀の下に、わかりやすく、實際的に學べる。

◇しかも 家庭の事情で中學校へ通學出來ない人が澤山ある。どうしたらよいか、それには本校の最新中學講義錄で勉強するのが一番よい。中學講義錄が僅か一ケ年の短期卒業の特色スピードでスラスラと愉快に面白く卒業ができるのはこの最新中學講義錄を措いて他にはない。

◇入會す ると毎月二冊づゝ立派な講義錄を送本し別に趣味深い雜誌と有益な參考書を一冊宛送本するから毎月四冊づゝの配本となり、自宅にゐて家業の傍ら朗讀の勉強で僅か一ケ年でヤスヤス中學全科が卒業出來る仕組である。このやうな新式な通信教授は他にない。

毎月 講義錄…二冊 參考書…一冊 機關誌…一冊 合計四冊づゝ配本し 此他いろいろの大特典付で 學費僅に一ケ月一圓

◇大特典 學費は右に示した通りでどこよりも安く、實に惠まれた同學生諸君の爲に思ひきつた奉仕的な勉學方法で、何であらう。尙この上、就學證明書や本校卒業證明書、進學上の資格や教科の傳授は勿論、中學の課外の讀物な[illegible]を毎年無料で送る事が出來ない、いろいろな大特典がある。

新學期開始 會員大募集

一年の計は元旦にあり。勉強は一月から始めるのが一番よい。されば今こそ講座も讀物の完備せる理想的の最新中學講義錄に入會して、將來立身成功の基礎を作りなさい。少年老い易し、勉强は若い時に限る！

ハガキで申込み次第見本付規則一冊無代で差上げます。急いでは直ちに今スグ御出しなさい。

見本無料進呈

東京市牛込台町七　大日本通信中學校

贅澤者流に晴天霹靂
金と白金の使用禁止
きのふ總督府令發布

長期非常時局に鑑み政府では九金以上の金使用を禁止しこれが對策の一助としたが、本府でも中央當局と諮り四日付の朝鮮總督府令第二號を以て朝鮮に於ても次の方法により金の使用を節減することになつた、同時に白金の使用制限に關する府令も同日付で發布し、次の方法で七日から實施することに決定した

金

府令の取締對象となる金は朝鮮產金合の所謂金地金(千分中九百九十以上の金)粗金銀合金新產金ではなく、工業、工藝、醫療用金地金拂下規則に依つて日本銀行より買受けたる金、賣金所謂古金に屬する金であり、その要項は左の通りである

一、原則として九金よりも高き品位の金を用ひたる製品の製造の禁止

勲章その他の法令に依り製造を要するもの工業用又は醫療用として必要已むを得ざるもの又は特に朝鮮總督の許可を受けたるもの、外は千分中三百七十六の品位を超ゆる金を用ひたる製品(金箔、金絲、金粉、金液及びこれらを用ひたる製品並に金鍍金を施したる製品を除く以下同じ)を製造することが出來ない

二、金箔、金絲、金粉、金液の使用制限

金又は金箔、金絲、金粉若は金液は特に朝鮮總督の許可を受けたる場合の外左の如き用途に使用することが出來ない

(一)屛風、襖、軸、額縁その他表裝用
(二)天金、金文字、裝幀その他製本用
(三)看板、標札その他廣告用
(四)金文字、金線、金散しその他印刷用
(五)金文字、商標その他標識用

而して金を用ひたる製品又は金箔、金絲、金粉若は金液の製造業を營まんとする者で毎月使用する金の純量が五十瓦以上の者は朝鮮總督へ屆出を要し從て一月四日現に右に該當する者は三週間內右製造業を承繼したる時は二週間內にその旨屆出づることとなつて居りまた製造業者は毎月の使用純金量が五十瓦以上なる時は金買入高、使用高、賣却高、保有高並にその製品の製造高、買入高、賣却高、保有高を朝鮮總督に報告を要する

白金

朝鮮總督府令第三號

昭和十二年法律第九十二號第二條及第三條の規定に依る白金の使用制限に關する件左の通定む

昭和十三年一月四日　朝鮮總督

第一條　白金は之を裝飾用品、裝身具、身廻品、文房具又は什器の製造(加工及修理を含む以下同じ)に使用することを得ず但し道知事の許可を受けたる場合は此の限に在らず

第二條　前條但書の許可を受けんとする者は左に掲ぐる事項を記載したる許可申請書を道知事に提出すべし
一、製造する物品名
二、白金の使用量
三、白金を使用せんとする事由

第三條　白金の生產、輸移入又は賣買を業とする者は左に掲ぐる事項を記載したる事業月報を翌月十日迄に道知事に提出すべし
一、生產量又は輸移入量
二、買入量(輸移入量を除く)
三、販賣量
四、使用量
五、月末在庫量

附則

本令は昭和十三年一月七日より之を施行す

本令施行の際現に第一條に掲ぐる物品の製造に白金を使用中の者には其の使用中の白金に付本令を適用せず但し本令施行の日より二週間以內に第一條各號に掲ぐる事項を道知事に屆出づべし

裝飾品裝身具に先づ禁止を適用
穗積殖產局長談

今次事變の進展に伴ひ軍需資材は益々增加の趨勢に在るを以て、國際收支の關係上一般民需は相當抑制せざるを得ない狀態で、本府に於ては既に多數の品目に亘り輸入を制限し、また銑及び銅の使用の制限に關する規定等を制定しました、然るに白金はその需要が大體極めて僅少にして需要の大部分は海外よりの輸入に俟つ狀態なるを以て、此の際なるべくこれが輸入を減少せしむると同時に緊要なる方面に對するこれが供給の確保を圖る爲には、不急の用途に對する使用を制限することが必要と認め、殊に本日公布せられたる金使用の制限に關する規則の制定に伴ひ、今後白金の使用は一層增加するに非ずやと懸念せらるるので、今回昭和十二年法律第九十二號(輸出入品等に關する臨時措置に關する法律)に基き本令を制定し、一月七日より施行することと致しました次第で、今後は裝飾用品、裝身具、身廻品、文房具または什器の製造、加工乃至修理に付原則として白金を使用することを得ないこととなり、また白金の生產、輸移入または賣買を業とする者より毎月事業の報告書を提出せしめこれが使用及び在庫の實情を判然せしむることとした次第であります、本規定は固より已むを得ざるに出でたる差當り應急の臨時措置でありますから、各位は以上の趣旨を十分諒解せられ、本規則制定の目的達成に協力せられん事を切望する次第であります

新年宴會御取止
時局下に畏き聖慮

新春を群臣と倶に壽がせ給ふ五日の宮中新年宴會は畏くも時局に鑑みさせ給ひ御取止めあらせられた、例年この日は豐明殿に皇族方を初め各國使臣文武大官等を召され、祝賀の饗を賜はせらるるは四大節の盛宴として輝かしい朝儀であるが、この度の御取止めは皇軍將兵の勞苦を偲ばせ給ひ又非常時下に擧國一致協力する民草の上を思召される大御心と拜し聖慮のほどことに畏き極みである

街の悲喜劇
金や白金のない世界

◇……時局柄金に對する政府の政策に順應して本府が四日公布即日施行した九金以上の金の使用を禁止する〃金使用に關する總督府令第二號〃は街にどう響く?

◇……派手好みの女見得坊、ハリキリボーイ等を相手に金時計、金指輪、金鎖等々ピカ〳〵陳列棚に賣れなくなつたわけで、貴金屬商達は大恐慌、店先の貴金屬類を惜しげになかめては「おい小僧、早く朝鮮銀行に運んで賣って來ないか」となる[illegible]の傍らで「一體どれ位の工賃の損かなア」と算盤をパチ〳〵入れてゐる番頭さんもゐるかと思へば鐘路十字路にその古き歷史をもつて顧客に知られてゐる〃裕昌商會〃は早くも重さうにドアーを閉して店をしめきり、寂しい姿を街角にさらしてゐる

◇……賣金屬ばかりぢやない、金屛風も金線も金の額縁も、看板の金文字も、製本の金箔も金線も一切九金以上は御法度ときてゐるので、表具屋さんも、製本業者も、印刷屋さんも大慌て、この上來る七日から白金の使用も禁止される事になつてゐるので「金が駄目なら白金にするわ」と言つてゐる婦人達はこれもギャフンとまゐる

◇……最もこたへるのは紳士から學生に至るまで誰もが一本は持つてゐる萬年筆も十四金ペン先が御法度の上に、七日からはその尖端に光る白金も駄目となり、萬年筆屋さん今からペン先は何にしようかと頭をひねる等々悄然街から街へ金をめぐる悲喜劇は續出した

勅題に『神苑朝』ちなむ寫眞展
一月五日より九日迄・三越ホール

皇國日本の新春は神苑の朝に輝く

明治大帝の御製に

世の中にことあるときぞしられける
神のまもりのおろかならぬは

と拜誦せられる通り、東亞の重大時局に直面した我臣民の活動する意義々しき神國の姿が顯現せられる、ここに新春劈頭、勅題『神苑朝』寫眞展覽會を開催する所以である。出品は總て朝鮮神宮奉贊會で御鎭座十周年記念事業の一として年餘に亙り苦心編纂の「恩賴」に掲載した數百枚の寫眞中より二百餘點を選擇したもので何れも朝鮮寫眞聯盟理事山澤三造氏苦心の傑作で我社後援の下に三越四階の二大ホールを併せた此種展覽會は前例なき畫期的のもので、見逃せないものである

主催 朝鮮神宮奉贊會　後援 本府內務局・京城日報社

神國日本の偉容
『神苑の朝』寫眞展開催に際して
內務局長 大竹十郎氏談

皇國日本のありとあらゆる行事は『神苑の朝』より展開せらるべきものである。この時に當り新春劈頭『神苑の朝』寫眞展覽會を開催せらるることは我が朝鮮の大なる誇りでなければならぬ。

抑も主催者たる朝鮮神宮奉贊會がその事業の一たる『恩賴』編纂を企てたのは一昨年の四月であつて爾來一年八ヶ月、編者をはじめ當事者の苦心は一方ならざるものであつた。昨今漸く其の全貌成り、仔細に點檢して見るとその劃時代的な編輯振り、その文章の現代詩的た構成、その寫眞の藝術史に於ける意義を考へるとき、衷心欣懷に堪へないものがある。そしてここにその原稿となつた數百枚の寫眞より約二百枚を選んでこの展覽會を開催することは、まことに時宜に適したるもので世界に誇る『神國日本の偉容』は正しくこの『神苑の朝』寫眞展覽會により益々その姿を明にすることが出來て、我等朝鮮に於ける臣民の皇國を想ふ赤誠は溢つてこの『神苑の朝』に報くであらう。

醫師會代表 戰線慰問
きのふ京城發

京城醫師會を代表して[illegible]浩、市毛文雄、稻垣基一の三氏は陣中に新春を迎へた北支皇軍勇士を慰問することになり、一行は四日京城發「のぞみ」で出發、天津、北京、石家莊、平定、太原の各陣地を訪れ、傷ける勇士を心から慰め、十九日頃歸城する

甘栗八 甘栗太郎 本町二ノ 本局二九〃

正月の○○部隊へ 本社の菰冠り
戰線に漲る朗かな景

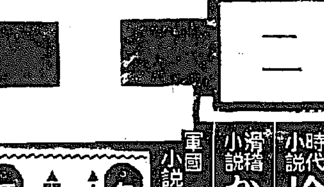
「○○にて本社特派員發」寒と氷雪に覆はれた北支の一線の古戰場にも『春』は來た、さきに本社が○○部隊の勇士に贈つた錦酒與壯丹及び鷄林自慢は目出度い元旦に所部各部隊に分配された、○○附近の○○部隊でも景氣よいコモ冠りをとり巻いて勇士一同わが友、わが子に巡り合つた喜びだ、部隊長自ら拔刀の鏡割りを行ひ、けふばかりは昨日に變つてきれいさつぱりと剃り落された髭面も美しい口許へ、故國の香ひを漂はせる『お酒』がたつぷりと注ぎ込まれた、快い興奮が勇士達の胸から胸を貫いて、殺風景だつた昨日までの陣地にパッと燦かに咲いたやう、勇士の顏にもほんのり紅さすものさへあつて、東方に萬歲を唱へる勇士の聲も嬉しさうだ、『京城日報のおかげでおいらの正月も出來た、あすからまたうんと働からぜ』と何處で拾ひ出したかバクチクを勇ましく打ち鳴らす勇士もゐる

川原隆夫畫伯 戰線へ繪行脚

洋畫壇の京城ッ子を以て組織せる宣人會の同人は先きに合作『聖戰』を朝鮮軍司令部に獻納したが、川原隆夫氏は今度軍との諒解なり從軍畫家として北支へ赴くこととなり五日午後三時廿五分京城驛發〃のぞみ〃で壯途に上ることになつたが、戰線勇士の一ヶ月の後に歸城、戰場寫生展を開くはずである

明治座へ銀幕の珍客
大船のスター連がお目見得

初春の半島を訪れた銀幕の珍客—松竹大船の中堅スター、三枚目の大山健二をはじめ磯野秋雄、日守新一、女優では大塚君代、忍節子、若水緋子の一行六名は四日朝半城から入城本町ホテルに投宿、正午挨拶のため本社を訪れた、八日まで明治座で實演「戀愛怒濤」一幕を寶演、京城のファンにお目見得するが、顏ぶれの揃つた中堅スタアの大量來演は京城としては初めてのことであり人氣を呼んでゐる【寫眞は本社を訪れた一行】



卸 小賣 ネクタイ專門 本町二丁目 京城 吉本支店

京城の味覺極樂
(に) カルビの巻

君、朝鮮で本場物の味覺極樂を!……「それにはどうしてもカルビですよ、カルビの美味いのは何と云つても京城ですよ、平壤肉といへば有名だからカルビだつて平壤の方が旨からうと人は云ふでせうが、カルビの値打ちは藥味にあるので、やはり京城が一番ですよ、藥味をとるやうなこの香りはどうです?全く美味ひとつなのですからね……內地から來た人なぞ妓生だつて平壤に劣るやうに思つてらつしやるやうだが、昔のことはいざ知らず、今ぢやソウル京城の妓生の方がね……アッハッハ……」と、或るカルビ通の京城ッ子はかう語つて舌なめずりをした、そしてカルビを手づかみで食つたよごれをテーブルに備付けの中紙でふきとると、傍らの妓生がおさつきにした鮮酒「正宗」一盃をのみほした、序に「酒は日本酒に限りますよ」といひたいところである

……◇……

「ゆうべ食つたカルボはうまかつた」と云つて笑はれた內地からの旅行者があつたがカルビはまことにエネルギッシュな料理である、早く云へばカルビは骨付きのビフテキである、御維新までは四つ足を食はなかつた內地人には想像も出來ないほど朝鮮の肉料理は種類が多く、百數十種、調理法があるさうだが、カルビはその中の味覺の王座とは行かないまでも……朝鮮には頭で頭の肉、足首、牛尾、それから胃腸も、等々さま〴〵料理法があつて、決して何でも無駄にぶち込むやうなことはしないのだ……あばら骨を燒いたカルビはうまきものである、牛一頭から肋骨が右と左と二枚とれる、勿論骨と骨の間には肉がついてゐるが、肉と脂は一頭で百目、二百目とは取らず、寶貿の最小單位に一枚の半分で、普通一枚か五、六切とするのだからなか〳〵さう人には買へるものではない、普通の家庭では滅多に食卓にはのぼらないのである

……◇……

カルビとはつまり肋骨、人間の肋骨もやはりカルビだが、所謂カルビ料理には牛の肋骨を取るのであるけれど、牛のが第一番である、先づあばら骨を一本々々切り離して更に三寸位の長さに切る、そしてこれについてゐる肉を庖丁で刻み込んで藥味汁の中に一時間ほどつけて味をつけたのち、網にのせて炭火でジュジュと燒くのだが、その藥味にコツがあつて、醬油の中にネギ、ニンニク、胡椒、胡麻、ゴマ油、それから砂糖などを入れる、味醂を加へると先づ最上級の藥味汁になる、(醬油は日本醬油に限るさうだ、今では朝鮮人の家庭でも一寸とした家では朝鮮醬油は使はなくなつた)藥味の配合如何によつて燒け上つたカルビの味もちがふ、まづいか出來るのだ、燒き加減にも上手、下手があるが、カルビ通に云はせると、ちようどビフテキの肉が燒かれたやうなあのうまい狀態になるのがよいさうである、實際あの肉がかれたうまさは骨に近い部分で生焼け位なのがうまいのださうである、カルビを手づかみで持つて(ハーモニカをふくやうに)骨にくつついたところをしやぶると何ともいへない甘味が出て來る、君よ知るや、あゝ〃肋骨料理〃の味を!である

……◇……

カルビにくつついてゐる肉は元來が少々硬いものだから、年の若い牛ほど柔かくてうまい、京城附近では議政府のカルビが一番といふのが定評である、あそこの屠場では二歲位のそれを屠殺してゐるからだ、だから京城の料理屋で「このカルビは何處から來た?」と聞いてみるがよい、たいへん場末の飲食店でも或は裏チョンローの立飲屋あたりでも、きつと即座に「えゝ勿論議政府ですよ」と答へるであらう、議政府のカルビと聞いただけではや味覺極樂の境地にひたれるのである、明月館よりも食道園よりもカルビだけは天香園が第一だとは通の認める所だが、先づから云つた一流の料理屋ではカルビだけは食はしてくれない、カルビはせいぜい一人前五六十錢しかとれないものだから……それでカルビを食ふためには定食のテーブルを注文しなければならない、テーブルが出れば酒も飲みたくなる、ついでに妓生も呼べといふことになるから忽ちにして十數金を投ずることになる、瑞麟町の八錢閣などはカルビだけ御一人前五十錢で簡單に食はしてくれるが、勿論味は天香園あたりに及びもつかない、カルビは屋立てのまゝに頬の出てゐるあたゝかい所がうまいのだから、家庭で燒きながら食べる方がうまいさうだが、或る人はから云つて歎へてくれた、「妓生の家に遊びに行つて二人で燒きながら仲よくしやぶつて見給へ、それこそ天國の味覺だよ」とね……

ラグビー大會
普成敗る

【大阪電話】第十三回全國高專、專門學校ラグビー大會第四試合早大高等學院(東京代表)對普成專門は三日午後二時五分より花園ラグビー場で普成の先蹴で開始、接戰の結果十一對六で早高辛勝す、審判員鍋(主)林、上原(線)

早高11 (5—3 / 6—3) 6普成專門

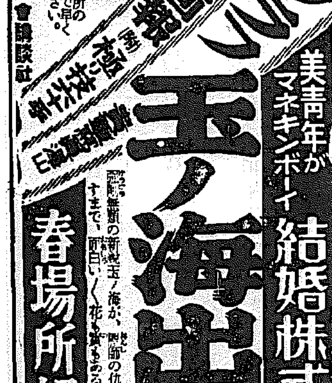
養正高普快勝

【大阪電話】第二十回全國中等學校ラグビー大會第三試合養正高普(朝鮮代表)對天理中學(大阪代表)は三日午後一時二十分より甲子園南運動場で細田(主)木村北川(線)三氏審判、天理の先蹴で開始、結局十六對〇で養正快勝す

養正16 (8—0 / 8—0) 0天理

けふの天氣

北西の風晴れ【きのふの氣溫】午前六時零下十六度六、正午零下九度六



特別附錄 列強空軍グラフ 力士寫眞大圖鑑

富士 二月特別號 七十錢 送料附錄共五錢

名講談 小猿七之助 神田伯龍 / 關取千兩幟 太田貞水
評判落語 新作戰況ニュース 桂米丸 / 新作恩返し 柳家金語樓 / 落語穴どろ 蝶花樓馬樂
流行漫才 掛合漫才 春場所 ヤジロー・キタハチ
圍碁將棋 七段瀬越憲作 八段花田長太郎

現代小說 湖月抄 細田民樹
時代小說 悲風女敵討 海音寺潮五郎
時代小說 槍術年代記 山本周五郎
滑稽小說 かけもち會社員 南達彥
軍國小說 妖華返り咲く 野村愛正

現代小說 曠野の火 加藤武雄
時代小說 栴檀の香 鷲尾雨工
山窩小說 山彥血笑姬 三角寬
冒險話 戰慄の片眼虎 [illegible]
感激物語 天翔ける日本魂 池田宣政
探偵小說 幽靈藥局 大下宇陀兒
現代小說 紅痕 竹田敏彥
時代小說 善魔鬘 吉川英治
現代小說 牡丹ぐるる時 小島政二郎
現代小說 愛の饗宴 戶川貞雄
時代小說 變り種 村上浪六
美妓哀史 高尾太夫 邦枝完二
現代小說 女人哀歌 中村武羅夫

美青年がマネキンボーイ 結婚株式會社 中野實
玉ノ海出世物語 鈴木彥次郎
春場所好取組 花籠平五郎

新連載の戰爭小說 地底戰 海野十三作

悲戀哀切の大長篇讀切り 泣けよ花傘 長田幹彥

トテモ面白い大傑作滿載 いよいよ張り切つた

南京陷落の前後 死都を出た蔣介石

十八娘が天晴れ度胸 女次郎長 川口松太郎
美女よ戀愛を誤るな 戀愛算術 菊池寬
快男兒敵陣の大活躍 柘榴一角 白井喬二

東京・小石川 大日本雄辯會講談社

記錄映畫論【上】

今村太平

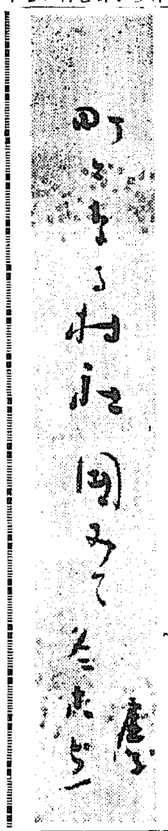
ニュースの大衆性

記錄映畫があまりに發達してゐないことはポール・ローザなどが最近の「記錄映畫論」で力說してゐる。これはどうやら世界的な傾向らしい。記錄映畫が社會的に發達するためにはどうしても大衆の眼の訓練がなければならない。映畫にはまた特有の文法があつてこの文章を視覺的に讀解する能力がある程度に發達しなければならない。記錄主義といふのは、いはゞカメラによる徹底した寫實主義で舞臺はむき出しの自然と社會であり、俳優はあらゆる自然物または社會人である。そこから純粹に映畫的な劇をひき出すにはそれを鑑賞する側の大衆に純粹な視覺的な精神が發達してゐなければいけない。そういつたものが缺けてゐるところでは映畫の劇的內容がほゞ小說や戲曲の梗概にもとづき、その作法に從つてゐる。

記錄主義の立場からすると、昨年はなかく劇映畫の佳作が多かつたのに、あまり收穫がないといへる。而も劇映畫の方は舞臺劇の映畫化であるが——たとへばルノアールの『どん底』內田吐夢の『裸の町』アル・サンテルの『目撃者』など——あるひは小說を素材にしたものか——たとへばシドニイ・フランクリンの『大地』ウイリアム・ワイラアの『孔雀夫人』熊谷久虎の『蒼氓』豊田四郎の『若い人』清水宏の『風の中の子供』などが優秀作品の殆んどを占めてゐる。これでは映畫の純粹記錄が發達しないことは尤もである。ところが昨年は日支事變の突發によつてにはかにニュース映畫の價値が増大した。いままではパラマウント・ニュースなどごく一部の人が滿足してゐたのに、いまでは、ニュース映畫そのものが——とりわけ日本のニュース映畫そのものが劇映畫に對立して急激に發展しはじめたのもあつた。もちろん事變に對する國民の大きな關心がニュース映畫以前にある社會心理的前提だが、映畫の方からすれば實はこのやうな大きな社會的關心を尤も直接に充すものが映畫の中にあつたのであるいひかへると事變をじかにして映畫の社會的な機能が認められたのである。その驚くべき大衆性は、國民がニュース映畫を通して事變の『目撃者』となり、視覺を通してそれを最も直接に體驗するところに生じたのである。この直接體驗といふ點ではもう新聞もラヂオも映畫の比ではない。新聞やラヂオは言語的な記錄だから文學の效果にたよるがニュース映畫はそんな效果を無視して誰をも同じ感動に誘ひこむのである。ことに相手が支那であるから、新聞、ラヂオの記錄には智識階級も首をひねりかねない漢語漢字が氾濫する。これが低い大衆にあつてはかなりの障碍になつたらう。ニュース映畫はそこへ行くと全く大衆的なのである。そこに視覺記錄のもつ驚くべき大衆性の根據があると見てもいゝ。

外國のニュース映畫は事變と共にひどく貧弱になつた。

最も印象に殘つたものとしてはパラマウント・ニュースの『ヒンデンブルグ爆發の慘事』と『スペイン革命軍のビルバオ砲撃』があるが後の惨害悲劇の記錄は最近ニュース映畫中の壓卷である。大西洋を橫斷して悠々とアメリカの飛行場の上を舞つてゐた飛行船の船首から一本の綱がスルスルと下された刹那、轟然と爆發してしまふ。いま迄のあの美しい巨體は見るまに火焰の塊となつて落ちて行く。袋の裂け目から豆をまくやうに人間がボロボロこぼれ落ちる、落ちてから起き上らうとする人の上にメラメラと燃える火の塊りがワーツとかぶさつてしまふのである。結構がスッカリ地に落ちて燃えてゐる中から一人逃げ出してくるではないか、この一瞬の悲劇を描いてゐるものは無感情で無思想な一個の對物レンズなのである。文學や演劇のリアリズムなるものの原理がいまからしてカメラの純粹記錄といふ形態の中でまことに無造作に示されてゐると見ていゝ（續く）



町さなる村社圍みて冬木立　高濱虛子

新春映畫の問題作

「五人の斥候兵」『靜御前』『人肌觀音』

ことしの新春映畫（一月中）の問題作は先づ第一週の松竹映畫『人肌觀音』第二週の日活『五人の斥候兵』第三週の新興『靜御前』が擧げられる

人肌觀音 は小島政二郎が主婦之友に連載したものを衣笠貞之助が脚本、監督を擔當し、阪東好太郎、高田浩吉、志賀靖郎に伏見信子が入社第一回作として熱演、その他大船から藤野秀夫、新興地劇部から飯田蝶子が特別出演の豪華版で其の題名にも興行價値を十分狙つてゐる

五人の斥候兵 軍事劇映畫中での傑作として既に各方面から絕讃を浴びてをり、內務省檢閲手數料免除、最初の內務省警保局長賞を受け陸軍、文部、教育總監部等が試寫を行ひ、更に內閣情報部の推薦、呼び聲も高い

靜御前 は新興が山田五十鈴主演映畫『吉田御殿』に次ぐ巨篇時代劇と稱して白井社長、永田撮影所長が陣頭に立つて進行されたもので、同社が正月の邦畫界を席捲しようといふ堂々十三卷（三四〇六米）の長尺、新興ファンは勿論、松竹ファンにも贈らうとする新興最大の自信作である

【寫眞】は上から『人肌觀音』『靜御前』『五人の斥候兵』

スターは初春を何してゐる

大船

この初春を松竹大船のスター連はお正月をどんな風にして迎へてゐるかちよつと御紹介

上原謙（十六ミリを樂しむ）佐分利信（家庭の正月を滿喫）夏川大二郎（のんびり）佐野周二（ゆつくり友達と酒交を暖める）徳大寺伸（子供にかへりタコアゲ）笠智衆（關西旅行）近衞敏明（霧ケ峰へスキー）田中絹代（スキー）川崎弘子（奥日光にスキー）高杉早苗（伊豆方面へ母と共に旅行）桑野通子（霧ケ峰スキー）高峰三枝子（姉弟達とレコードを聴く）

ベーカーの結婚

小林一三氏が本邦に來朝を懇へた黑色の女王ジョセフィン・ベーカー嬢が遂に結婚した、相手はジャン・リオンと呼ぶフランス巨商である

彼女のパトロンがフランスの香水コティであつたことは有名な話だが、コティ氏の死後も相變らずあのコケティッシュな踊りでパリジャヌの人氣を魅了してゐたところ、此度いよいよリオン氏と結婚することとなり、フオーリー・ベルヂエールの支配人ポール・デルヴァル氏の媒酌で華々しい結婚を擧げた

この結婚を機會に彼女は永年の舞臺生活をやめて引退、完全な家庭の人となる意向だといはれ、ベーカー・ファンのパリッ子を淋しがらせてゐる

お笑ひスター勢揃

洋畫封切館の新春銀幕は例によつて、春はお笑ひから、とばかりにテムプルちやん、ローレル、ハーディ、ブラウン、ロイドなどお馴染みの喜劇俳優達の動員である、即ちSYにはシャーリー・テムプル、ビクター・マクラグレン主演『テムプルの軍曹』スタン、ローレル オリヴァー・ハーディ主演『極樂の山』が封切られ[illegible]天座にはハロルド・ロイド主演『ロイドの活動狂』ジョー・E・ブラウン主演『ブラウンの空中戰』が封切られることゝなつた 東寶系は邦畫全プロの豫定で洋畫封切は目下のところ未定

ワーナー大ゆれ

最近マリオン・デヴィスをはじめアン・ヴオーザーク、パトリシア・エリス等が相次いで脫退したワーナー撮影所では更にトーキー時代の先驅者アル・ジョルソンと彼の愛妻ルビー・キーラー及び『支那ランプの石油』のジーン・ミューアが退社した、これはケイ・フランシス、ベット・デーヴィス、レスリ・ハワード、ポール・ムニ等の大スタアの下にエロール・フリン、オリヴイア・デ・ハヴイランド、ジョージ・ブレント、ジョーン・ブロンデル等が第一線級で活躍する新時代期と見られてゐる

映畫ニュース

◇…英國で『曉の翼』と『リッツの映畫』を完成したアナベラは渡米して廿世紀フォックス映畫『ジーン』に主演中だが相手役にはメトロからウイリアム・ポウエルが借りられ興味あるキャストが構成された

◇…オリヴィア・デ・ハヴィランドと英國で總天然色映畫『ロビンフッドの冒險』を撮影中のエロール・フリーンの次回作はベット・デーヴィスと初顏合せ著名舞台劇『スクール・フオア・スキャンダル』を映畫化

◇…ワーナー社副社長ジャック・L・ワーナー氏は監督中心主義にシステムを一元化するに至りその實行として左の如き著名監督を續々入社せしめた『眞夏の夜の夢』のマックス・ラインハルト、『アスファルト』のヨーエ・マイ『最後の戰闘機』のアナトール・リトヴァーク『孔雀夫人』のウイリアム・ワイラー『その後に來るもの』のジェームス・ホエール、『晩春』のエドマンド・グールディング

見果てぬ青春

次の朝刊新小說

川口松太郎作　志村立美繪

昨年度の新聞小說界の人氣を席捲した本紙連載中の朝刊小說、小島政二郎氏作『妻』は明朝の一齣を以て華々しく悠々完結いたします、假いて本紙は巨匠の連打をもつて新春の紙面に新春のページを開くことになり本紙には初お目見得の川口松太郎氏の快諾を得て力作『見果てぬ青春』を連載することになりました、川口氏はこゝに更めて御紹介申上げるまでもなく小說に、劇曲にさてはシナリオに行くとこ不可ならざるなく華麗多彩な構想と筆致を謳はれる文壇の雅將軍で、氏の傑作『明治一代女』は劇化され、映畫化されて大衆ファンを唸らせたことはまだ記憶に新たなところであります、川口氏が今回とり上げた題材は『作者の言葉』にもある通り實在せる女流の日本舞踊師匠の半生で氏の最も得意とする近代都市風俗のなかに繰りひろげるロマンスの花びらこそ、愛讀者を完全に魅了し去るに相違ありません、挿繪はこの作者にこの畫伯と形容したいほどぴつたりとした志村立美氏で、ここに華麗この上なき二重奏が期待されます、連載の日をお待ち下さい【寫眞は打合せ中の川口松太郎氏（右）と志村立美氏（左）】

作者の言葉

この小說には明らかにモデルがあります、日本の新舞踊界で、新人中の新人と云はれる日本舞踊の女流師匠がこの主人公であり、はつきり名前を云へば誰方もご存じの名高い存在なのです。私はこの小說のモデルにむかつて『何時かは君の生涯を僕の作中に描いて見たいと思ふ』と云ふ意味を傳へましたところ、彼女は欣然として私の希望を容れ『何時でも自由に描いて下さい』と喜んで奇しき生涯の詳しい物語を語つて聞かせました。むろん私の小說は彼女の話のまゝではありません、然し作者の空想のみに同化して單なる實話物語ではなくなつてゐますが、十分に私の作品に生れたる女性ではなく、我々と同じ時代に生きる實在であると云ふ點では、今までの新聞小說になかつた力強い生きた小說を描く事の出來るやうな心持がするのであります。

挿繪家の言葉

川口さんの小說の挿繪は今まで、雜誌では描いたことがありますが、新聞では始めてです、いゝ機會を得ましたので自分としては是非溌溂としたものを描いて御期待にそひたいと思ひます。

國定忠次（157）

長谷川伸作　岩田專太郎畫

旅枕の女（九）

田部井は今では國定村と同樣に群馬縣佐波郡東村に併合され、昔の村名を大字に殘してゐるが、その頃は旗本の平岩家の知行所で、高四百石だつた。

村內に幾つかある豪家のうち、今夜、夜盜の襲擊をうけた石原家は、白壁の塀門の外に、狹いながら深い橫に流した水の流れがあり、屋敷內には母屋、新家、隱居所、土藏、と千棟に餘る建物がある、敷地も廣大である。

駈付けた忠次は回藏を顧み、

『遲れたかな、妙に森としてゐる』

『いや、音が聞える。彼奴等、獲物を漁つて踏入りしてゐるのだらう。親分、この塀を乘越すがいゝ。塀門に見張りの奴が手槍か何か持つて頑張つてゐやがるに違ひない』

『よし乘越さう』

忠次が塀へ飛びつくよりずッと速く回藏が鐵棒を巧につかひ、塀の上へ身輕く飛びあがり、

『親分はここで見張つてゐて後からくる子分達の指圖を願ひます。俺は塀門の扉を開けに行きます』

音もなく地上に降りた回藏の姿が、上から覗いてゐる忠次の眼にもつかず、消えるが如く見えなくなつた。

と、身內の者の跫足が聞えてきた。

回藏はそッと忍び寄つた塀門の內側で、手槍を脇い込み、扉の隙目に耳を押付け、聞える足音に聞き入つてゐる、夜盜仲間の二人が氣がついたときは、突きを入れて一人を早速絕息させ殘る一人が振向く股大に槍を返して打込んだ。

どたり、そいつが扉に體を打付け、剣返つて塀門の右にある物置きにぶつかつて絕息した。

と、同時に女の聲で、

『あッ』

回藏はその聲を聞いたが振返りもしない、扉に手をかけ押開けてから小戻りして、

『もし、物置にだれか入つてゐさすかね』

繩を立てゝ穩かに訊いた。物置の中で齒が鳴つて女の返辭が震へて聞える、

『はい』

『ここの人かね、石原さんの』

『いゝえ』

『ぢやあ何だね、お前さんは』

『…今夜だけ、泊つていゝと仰有つていたゞきましたので』

『他國の人か』

返辭がない、齒が鳴つただけである。

回藏は後の問答をやめた、行き暮れた旅のものを、泊めてはやらぬが泊まるを默許する慣ひは、その頃、何處にもあつたのである。忠次が塀の上に腹這ひに塀門に來て、屋根に片足かけたので、回藏はそれに氣をとられた。忠次は落着いた聲で、いよいよ近くなつた身內の者に、

『こゝだ、こゝから入いれ！』

長脇差を拔放ち、目印に振りたて、

『それッ飛込め！。屋敷の者を間違へるなよ。盜ッ人共は叩ッ斬つて構はねえッ』

警察力のない地方では、村は村人の自力で、暴力をつかふ夜盜と對抗しなくてはならない、が、村人の氣力はさういふ事にかけては如何にも強い。そこで國定一家の如きは、この界隈、俗に繩張りとも、又いひ火打場ともいひ賭場とも、又賭場所ともいふ、自力勢力範圍の內で起つた事には、率先して駈付け、挺身して働くのが常である。

塀門から屋敷內へはいつた國定身內は、慣れたもので、二手に分れて左右から、母屋を睨んで鯨波を揚げ、

『用だア。用だア。用だア』

と、聲の大きい者が二三人、手分けして喚いて歩いてゐる。〝用〟とは〝御用〟の御をわざと除いてゐるのである。

いきなり、飛込んで夜盜と格鬪する愚を忠次の身內のものにやらせない。鯨波の聲で賊を威嚇して置いて、御用提灯の聲で再び威嚇し、それから家の中へ三方備へで突ッこむのが例だ。

三方の備へとは三ケ所から一ツ處を攻めるとで後に〝國定の三とこ攻め〟といはれたものである。

回藏は屋敷の奉公人を呼びあつめ、定紋のついた高張提灯、手丸提灯を門內の各所にたてさせてゐるうち、ふッと、今し方の女の聲を耳の底で思ひ出し、はて、聞き覺えがあると氣がついた。

北青 第一印刷所

北青邑 中央齒科醫院 盧能奎

北青警察署 職員一同

北鮮倉庫株式會社 北青支店

兄弟商店

北青郡新昌邑 文康錫

白惟泰自動車修繕工場

北青 得丸千代藏

北青片山ラヂオ商店

新昌漁業組合

北青 共興株式會社

咸南倉庫株式會社

北青釀造株式會社

咸南合同電氣株式會社 北青支店

北青 地方公立初等學校聯

咸南北青邑 咸鏡木材株式會社

北青邑內 申合會

北青 崔濟武

咸鏡線北青驛前（食堂構內） 朝鮮運送株式會社 代行營業所 電話長一二六番

新昌 前

賀正 祈皇軍武運長久

羅津驛構內 食堂賣店 元岡政夫 電話五五七番

羅津府榮町 羅津タクシー 電話三五九番

羅津府興安通り 土地建物賣買業 日乃出商會 電話五〇三番

羅津府末廣町 鐘梅屋商會

羅津商工會 副會長 稻垣福造

羅津府會議員 小山太郎

羅津府元町一丁目 鐘豊榮洋行 電話長三七八番

三井物産株式會社大連支店 羅津駐在員 石原豊太郎

羅津郵便局長 大島鐵造

羅津府間依洞 北鮮商事合資會社 高橋嘉一郎 電話六六三番

咸北道會議員 羅津府會議員 金琪宅

西田組 西田明義 羅津府末廣町

羅津府會議員 辛鍾昇

羅津警察署長 鹽谷武夫

羅津金曜會

羅津土建倶樂部

羅津稅關

外國船舶代理 外國保險代理店 ブリナー商會 羅津府若草町

羅津府會議員 吉原豊吉

羅津府 土木建築請負業 林工作所 林丑三郎

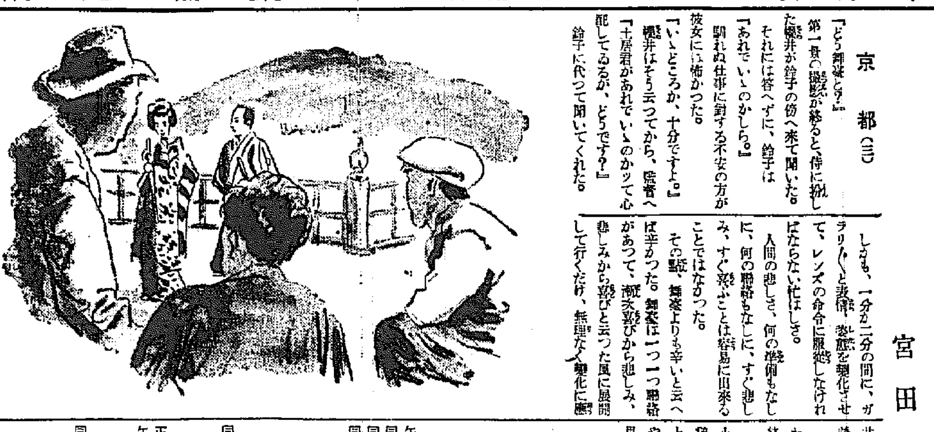
國際運輸株式會社 羅津支店 支店長 中野醇

滿鐵北鮮鐵道事務所 羅津

羅津府 羅津府

妻　【141】

小島政二郎作　宮田重雄繪



京　都（三）

「どう舞臺と？」

第一番の撮影が終ると、侍に扮した櫻井が鈴子の傍へ來て聞いた。

それには答へずに、鈴子は

「あれでいゝのかしら。」

馴れぬ仕事に對する不安の方が彼女には怖かつた。

「いゝどころか、十分ですよ。」

櫻井はさう云つてから、監督へ

「土居君があれでいゝのかッて心配してゐるが、どうです？」

鈴子に代つて聞いてくれた。

『結構です。堅くならずに、舞臺よりは、もつと日常生活の姿態に近く、ナチュラルにして下されば、云ふところはありません。』

監督はニコ〳〵しながら、鈴子に向つてさう云つてくれた。

「どうも舞臺から來た方は、力の入れどころがないので不安らしいが——。何しろ舞臺は二十分なり三十分なり連續的に緊張してゐなければならないのに反して、映畫の方は一カット一カットで仕事が終りですから。一カットと云へば、せい〳〵永くつて一分から三分位なものですからね。その邊の呼吸が違ふので、手勝手が大分違ふらしい。』

『……』

聞いてゐて、鈴子は成程さうだと頷けた。

もう一つは、映畫の撮影と云ふものは、舞臺のやうに順を追つて筋が發展して行かないことだつた。今、谷間のとこを寫したと思ふと次は一足飛びに失戀して泣き倒れてゐるところを寫すと云つた工合に、何の脈絡もなく、同じ場面、同じ扮裝、撮影出來るところは、一緒にみんな寫してしまふのだ。

だから、今泣いたと思ふと、すぐ笑はなければならなかつたり、今惡者に追ッ掛けられて危難に脅やかされたと思ふと、すぐ後で、笑ひさんざめいてハシヤいで見せなければならなかつた。

しかも、一分か二分の間に、ガラリ〳〵と表情、姿態を變化させて、レンズの命令に服從しなければならない忙しさ。

人間の悲しさ、何の準備もなしに、何の聯絡もなしに、すぐ悲しみ、すぐ喜ぶことは容易に出來ることではなかつた。

その點、舞臺よりも辛いと云へば辛かつた。舞臺は一つ一つ聯絡があつて、漸次喜びから悲しみ、悲しみから喜びと云つた風に展開して行くだけ、無理なく變化に應じられた。

ロケーションと云ふものも、その日鈴子は始めて經驗した。

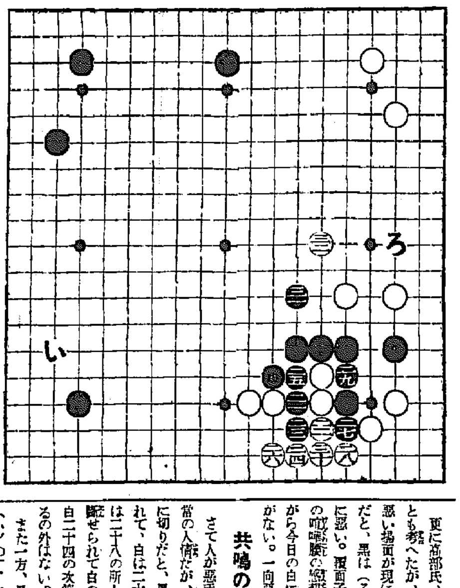
加茂川に架つてゐる橋の上で櫻井の扮した若い侍と、鈴子は戀を語るのだつた。

『小雪殿、明日は戰ひの庭に赴くわが身。今生の逢ふのが、始めての終りかも知れませぬ。』

さう云つて迫る若い侍の胸に、小雪は身を投げ掛けてひしと取り縋る。櫻井の熱演は、フイルムの上のそれではなくて、眞實の戀のやうに實感が溢れてゐた。鈴子は思はずハッとした位だつた。

京日特選棋譜 ④

相先先番　八段　雁金準一
八段　高部道平



黑二十一より白三十二まで

感想喧嘩腰　◇覆面道人

二十四は絕對的

果して本日は昨日の豫想通り、先づ以て白二十六までとなつたが昨日の最後は黑二十一以下二十三まで、そして本日は白二十四と始まる。この二十四は絕對的で二十五では惡い、と高部氏説言。

卅一は豫定行動

雁金氏の感想に據れば、黑二十七以下白三十二までは、黑二十一と二十三との豫定に伴ふ白地域、また黑三十一の一手も其他にはない豫定の遂行、とあるが、その通り今日も黑に惡手は見られない。

殘念ながら

更に高部氏、白三十二を（い）とも考へたが、白（い）では白に惡い場面が現はれる。即ち白（い）だと、黑は（ろ）と打込んで、白に惡い。覆面子文句があるか、との喧嘩腰の感想であるが、殘念ながら今日の白にもケチのつけやうがない。一向惡手がないのだ

共鳴の外なし

さて人が惡手を希ふことも世の常の人情だが、白二十四が二十五に切りだと、黑二十七と黑に出られて、白は二十四の所、そして黑は二十八の所となり、白は黑に兩斷せられて白の惡果となる、で、白二十四の次第、と、白に共鳴するの外はない。

また一方、黑三十一を、例へば（い）のすぐ右だとすると、白に三十一と飛ばれて白に好手を與へる。だから雁金氏にも共鳴するの外はない。更に白三十二が（い）だと、黑に（ろ）と打込まれ、その方面の白模樣は一擧にして消し飛んでしまふ。と云ふわけで、どうにもケチのつけやうがない。これでは覆面子大いに困る。

RADIO

五日（水）　第一放送

午前六時五五分　ニュース
同八時一〇分　今日の天氣見込
同九時二〇分（城）氣象通報
同九時三〇分（東）三絃京謠と並曲
　唄　武藤　德一外
　三絃　杵屋佐登代外
　替手　杵屋　吉登
　囃子　福原　社中
一、三絃京曲二、三絃京曲韃靼々三、三絃京謠鮨屋の笛外三題
同一〇時（東・大）新春新棋大會（二元放送）
　（東京）名人　關根金次郎
　（大阪）八段　神田辰之助
正午（東）時報
午後零時三〇分　ニュース

新年子供大會

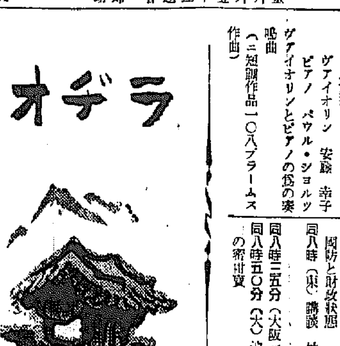
同一時（東）（一）第十回ＪＯＡＫ新年子供大會＝日比谷公會堂より中繼＝
一、御挨拶　日本放送協會業務局長　片岡　直道
　司會　關屋五十二
二、君が代（齊唱）會衆　一同
三、吹奏樂　海軍軍樂隊
　指揮樂長　內藤　淸五
四、童話　涙の君が代　安倍　季雄
同二時五分（大）（二）大阪國民會館より中繼＝童話劇　ヘリユウム小僧（豫告篇）　大阪童劇協會
同二時三五分（東）（三）第十回ＪＯＡＫ新年子供大會＝日比谷公會堂より中繼＝
　管絃樂　日本放送交響樂團
同三時五分（大）（四）大阪國民會館より中繼＝祝賀曲　日本の春　ＢＫコドモ會
同四時　ニュース外
同六時（名）管絃樂　名古屋交響樂團　名響練習所より中繼＝
　月琴伊の國歌と行進曲
同六時二五分（東）コドモの新聞
同六時三〇分（東）新春特別講座
　國史に輝く人々（終）本居宣長　長谷川如是閑
同七時　ニュース・天氣見込
同七時三〇分（東）國民歌謠
　合唱　東京シムフオニックコーラス
　伴奏　東京放送管絃樂團
一、金槐集より
二、子等を思ふ歌
三、戰勝の新年
同七時四五分（東）哥澤
　唄　哥澤　芝金
　三味線　哥澤　芝攝
　同　哥澤　芝香
一、鶴壽三番叟
二、水さし
同七時五五分（名）新內　田世太公記　今川萬才樂の段
　淨瑠璃　富士松彩太夫
　同　鶴賀　朝太夫
　三味線　富士松　房子
同八時二〇分（東）ヴァイオリン ピアノ二重奏
　ヴァイオリン　安藤　幸子
　ピアノ　パウル・ショルツ
　ヴァイオリンとピアノの爲の奏鳴曲（ニ短調作品一〇八ブラームス作曲）
同八時四五分（東）ラヂオ・ドラマ
　〝家族會議〟　小川　正夫・作
　第一樂章　アレグロ
　第二樂章　アダヂオ
　第三樂章　スケルツオ—ウン・ポコ・プレスト・エ・コン・センチメント
　第四樂章　プレスト・アヂタート
同九時二〇分（東）時報・ニュース（外）
引續き（城）朝鮮語ニュース
同一〇時（城）地方へのニュース
同一〇時二〇分（東）英語ニュース
同一〇時四五分（東）支那語ニュース

第二放送

午後零時五〇分　室內樂　城西トリオ
同一時二〇分　レコード音樂
同六時　小さな音樂會　李桂成他
同六時二五分　講演　韓萬熙
同七時二〇分　關山戎馬　張鶴仙
同七時五五分　愛國歌謠　鈴木美佐保
同八時二五分（東）ヴァイオリン ピアノ二重奏
同八時五〇分　時調　李永燦
同九時五分　玄琴二重奏　中快童

あすのきもの　六日（木）

午後零時五分（東）家庭コント
同六時二五分（城）趣味講演（全國中繼）朝鮮の虎に就ての傳說　祖　甫　華
同七時二〇分（東）講演　列國の國防と財政狀態　土方　成美
同八時（東）講談　笹川の繁藏　神田　伯治
同八時二五分（大阪）獨唱
同八時五〇分（大）浪花節　紀文の宿出寶　梅中軒鶯童



ラヂオコメディ　8・45　家族會議

田中絹代　上山草人外

東京郊外にある一家庭、この家庭では毎月一回家族會議を催してそこで持ちは家族の生活向上に資する希望、不平、不滿、忠告を持ちより評議し取捨し以て家庭を理想化さうとするのであり意圖は大變よいのです、所がこの家族は

父　嚴格な老人そして成程とうなづける男、臨時に限る
母　死に侍その妻として勤まつた人
一郎　長男、會社員としての適性を秀く失はぬた〻和歌に凝る二十九歲
文子　その妻、才色兼備で通してみたい女、二十五歲
二郎　二男、神經質なくせに理論好きの醫科大學生、二十三歲
リカ子　二女勝氣な立廻れの出來ない女學生十八歲
リマ子　三女柔順な育ちの小學生途中より眠つて了ふ十一歲

以上銘々に性格を異にし缺點を異にし時代、職業、趣味、嗜好、立場を異にするので始めて催された今夜の第一回から意見區々、リマ子の遊び友達が論じられカフエーが罵られ舞踊が攻擊され僅に犬小屋の新調だけが可決されたのみで父が思ひ出した樣に詩を吟ずると一郎は得たりと短歌の朗詠で應じます。

副食物は熱心に論じられましたが遂に提出された家計簿から會計は收拾すべからざる混亂に陷り父の硬化してる動議異變を見るに至りました……とそこへ他家へ嫁してゐるこの家の長女リエ子が不意に婚家を逃げて歸つて來ます、婚家の家族が銘々氣にくはぬからとのこと

詳しくきくとその銘々の缺點がみんなこの家族銘々の缺點に符合するので思はず皆んな氣まずい思ひをするのみならずそれを聞いたこの家の長男の妻まで急に家族に嫌氣がさし里へ身を引くと申出すので騷ぎが倍になりますが議長の父が

さしたる理由なくして瀧谷の家を逃げ出し今晩わが家族會議をかき亂したことびそれにそゝのかされても一人の者まで急に里心のつくことに反對の方は手を擧げて

と決を採る時二階の赤ん坊が泣き出すので文子は乳をのませた……トタンにリエ子は夢からさめた樣に夫の許へ歸るべくタクシーを電話で呼びます。一同やつと安堵の胸を撫で下ろします

父　だがどうしてからもよく同じ事柄が二つ重なり合つてるのだらう
母　どうしてからも世間には同じ人が多いんでせう
一郎　いゝえ、これはきつと誰かが頭の中で仕組んだことに違ひありません
二郎　作者だな、作者の仕業ですよ、きつと作者が仕組まなければこんなことはてんで起らないことです
リカ子　本當にひどい事を仕組むもんだわ
父　いや〳〵、からいふことは今後再び仕組まれないやうに銘々が注意することを提議する

バイオリンとピアノ（8・20）

ドイツの新古典派の巨匠ヨハンネス・ブラームスは、今から百五年前卽ち一八三三年にハンブルグで生れた、彼が浪漫派音樂全盛の時代に生きながら古典的傾向を多分に持つてゐたことに對して、彼が古典的巨匠の亞流であると評せられたのは既に昔のことである。彼こそ浪漫派を超越し古くよりドイツ音樂に流れてきた確固たる古典的傳統と浪漫派音樂とを完全に結合させるべく實に驚くべき努力を續け、遂にそれを完成した樂聖なのである

この奏鳴曲はブラームスが作つたヴァイオリンとピアノの爲三つの奏鳴曲の第三番に當り一八八八年夏に作られた、初演はその翌年ウイーンで行はれたがその時はブラームス自らがピアノを奏し、ヴァイオリンは當時の第一人者ヨーゼフ・ヨアヒムが彈いた、この第三番は三曲の中で最も情熱的であり最も美くしい

尚安藤幸子女史はベルリン國立音樂學校時代に敎授をうけたヨアヒム門下の唯一人の日本人である。獨逸ヨアヒムが初演し且非常に得意としてゐたこの二短調奏鳴曲は同女史にとつて感慨深いものであるであらう

國民歌謠

一、戰勝の新年

河井醉茗作詞　小田進吾作曲

建國こゝに二千年、五百九十八年の、朝を迎ふる初日影、四海の波に輝けり、あゝかゞやけり

萬里の城を花に越え、南は進む揚子江、南京城頭空高く、きらめく晴の日章旗、あゝ日章旗

疊巒如何に築くとも、城壁如何に高くとも、攻むれば落す益良雄の魂神や護るらむ、あゝまもるらむ

二、子等を思ふ

山上憶良・作　萩原英一作曲

しろがねもこがねも玉もなにせんに、まされるたから子にしかめやも

三、金槐集より

源實朝・作　佐々木すぐる作曲

山はさけ海はあせなむ世なりとも君にふたごころ我あらめやも

[illegible]定期航路廣告

甕津線　毎日往復　寄港—三吉里、大尚、大山、大要里
代理店　瑞山　宗號運送店　瑞山邑內自動車道路
瑞山線　仁川發午前九時　瑞山發午後三時隔日　寄港—香池、內里
代理店泰安　瑞山泰安邑內自動車道路　瑞山泰安商會運送部
唐津線　隔日往復　寄港—唐津浦　代理店　唐津運送店
仙掌線　隔日往復　寄港—漢津、孔浦里、富里浦、萬石浦　代理店　合同運輸組　仙掌海仙運輸組
溫陽線　月八回　寄港—本元浦、西浦　代理店　白石浦運送店
海州線　海州發午前八時　仁川發午前八時　毎日、寄港—延坪島　代理店　海州運輸株式會社
週回、居里、仙掌、溫陽各線ノ仁川代理店（仁川府港町一丁目五番地）

株式會社　朝鮮海洋社　電話二三一番（營業）一〇一番（船舶ノ他）

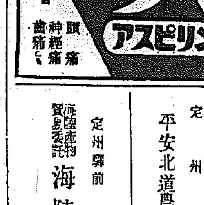
朝鮮總督府命令航路　朝鮮、北海道、大連
大連直行（三等七圓）
仁川出帆代理店日鮮海運株式會社
日本海丸　一月八日　電話九〇番
×日本、北海道、樺太行
×印樺太行（各地急行）
旅客施設完備ス
切符發賣所前記
ジャパンツーリストビューロー
鎭南浦出帆代理店朝鮮海運出張所　電話五三九番
天海丸　一月五日

仁川出帆代理店日鮮海運株式會社　電話五〇番
天海丸　一月七日
群山出帆　代理店　群山海運會社　電話一四番
天海丸　一月八日
木浦出帆　代理店日鮮海運出張所　電話八四番
天海丸　一月九日
釜山出帆　代理店　ト一九弟商會　電話四〇八番
天海丸　一月十一日
浦項出帆　代理店　浦項運輸會社　電話一一番
◎北海道寄港地、境、宮津、新潟、舞鶴、新舞鶴、敦賀、伏木、船川、函館、小樽、大泊、眞岡
◎北海道命令航路
羅日丸　北陸、北海道行　北鮮線
雄基出帆　代理店　國際運輸支店　電話二七番
羅津出帆　代理店　國際運輸支店　電話一八番
清津出帆　代理店　國際運送支店
城津出帆　代理店　北鮮商船組　電話一三番
西湖津出帆　代理店　宮田商會　電話二八番
元山出帆　代理店　朝鮮運送支店　電話二〇番
內地寄港地　泥田、船川、青森、函館、小樽
◇各船共最新式優秀貨客船ニシテ旅客設備完備ス
切符發賣所ハ前記代理店及各地ジヤパンツーリストビユーロー
案內書進呈　本社及代理店ヘ御申込アリ次第各號遞路案內書御送リ致シマス、尙出帆時日ニ就テハ都度最寄ノ代理店ニ御照會被下度候
神戸市神戸區明石町
嶋谷汽船株式會社

大阪商船出帆
○內鮮滿連絡優秀船
北鮮門司阪神急行
清津正午發—雄津前日發
門司着—翌々日正午
大同丸　一月十三日
河南丸　一月廿三日頃
北鮮臺灣行　清津發
清津、雄基、城津、興南
高雄行　博多、長崎、鹿兒島、基隆
大連內地直行　日滿連絡毎日發
朝鮮、滿洲主要驛ニ於テ船車連絡切符發賣
大連發午前十一時　門司着早朝　門司發午後一時　神戸早朝

	大連	門司	神戸
鴨綠丸	一月五日	七日	八日
黑龍丸	十一日	十三日	十四日
熱河丸	十日	十二日	十三日
吉林丸	二日	四日	五日
扶桑丸	七日	九日	十日
うすりい丸	九日	十一日	十二日
天島丸	三日	五日	六日
奉天丸	一日	三日	四日

門司基隆直行　內臺連絡船　毎五日目發　門司發正午
高砂丸　十二月卅一日
蓬萊丸　一月七日
（基隆翌々日午後一時）
門司より神戸行大型船便多數あり
（案內書進呈）
京城府南大門通二丁目二三
大阪商船株式會社　京城支店　電話本局長一〇三〇
鮮內代理店、案內所
清津　雄基　國際運輸會社
仁川　慶田組
釜山　釜山商船組
ジヤパンツーリストビユーロー案內所　京城三越　平壤三中井　釜山三中井　安東大和橋


感冒に　シオノアスピリン　頭痛　神經痛　齒痛に　全國藥店にあり

M131
本日　し下虫　マクニンデー
のみやすく・ヨク効いて・害がない
1 効力強く副作用中毒作用がない
2 死虫で排出するから不快感がない
3 一回の多量服用連續服用共に安全
4 下剤の必要なく甘くて服みやすい
一歲未滿 .20 .30　一歲以上 .50 .75　大人 1.00 1.35　2.00
株式會社　藤澤友吉商店　大阪市東區道修町　東京市日本橋區本町

正賀　祈皇軍武運長久

定州高安面　千滿鑛山事務所　鑛主　朴仁洙
五山高等普通學校
朝鮮料理　西洋料理　會席料理　天香園　李熙爽
定州稅務署
羅運組定州出張所
定州城外　太田隆二
西鮮合同電氣株式會社　定州營業所　鈴木正背
定州警察署
定州金融組合
玄米、白米、穀物、製造、委託、貿易　太陽商會　電話五八番
平安北道　農事試驗場
裁縫ミシン、ユニオン商會　定州分店　鄭聖柱
定州　平安北道農民訓練所
定州驛前　海產物、貿易委託　海陸商會　電話一一九番

定原金融組合
定州專賣局販賣所　電話三九番
定州郵便局　職員一同
朝鮮運送株式會社　定州代行營業所　代表者　崔泰峻　電話三三番　四六番
定州驛前　力武運送店　腰高正彌　電話二八番
定州邑　盧輔根　電話一〇一番
定州邑內　印刷文具　和洋紙　丸加印刷所　電話六八番　振替京城一五七三七
長崎旅館
陰城郡　陰城面事務所
陰城金融組合
陰城　內田役一
陰城警察署員一同
陰城耕作組合　暟煙會
陰城郡　陰城郡農會
陰城專賣局派出所職員一同

定州邑內　シンガーミシン會社定州分店　主任　田德京
X光線　紫外線　赤外線　設備　昌健醫院　院長　李昌健　電話六一番
X光線　紫外線　赤外線　設備　定州醫院　公醫　李益組　電話六二番
定州邑　電話一三番
定州納清亭鍮器株式會社　電話五三番　本社及工場清亭市
定州郡　安興面長金貞淳
定州郡廳
定州郡農會

古道兵助
古道節
宮村伍市
長湍九化郵便所長　萩原民雄
長湍專賣局販賣所長　大橋功
九化專賣局販賣所長　沈興燮
長湍九化市　公醫　安應樞
長湍高浪浦穀物檢査所長　河田元
高浪浦郵便所長　西田末吉
長湍驛前郵便所長　木村欣一
長湍郡廳職員一同
長湍郡　長湍面　津內面　長南面　大江面　江上面　大南面　小南面　長道面　津西面
事務所職員一同
朝鮮京義線長湍驛前　日用雜貨　穀類　片山商店　振替京城三一七四番
九化金融組合　職員一同
長湍驛職員一同
時局柄年賀欠禮仕候　東場金融組合理事　三戶越夫
連川郡積城面　長坡簡易學校　白圭鉉　同校雜務　李澤熙
長湍金融組合理事　藤田富史
長湍邑內　京西自動車株式會社　長湍營業所
長湍學校長會一同
京畿道會議員　金顯祚

中央館
賀正　三日より五日まで三日間　今週迄特に階上下共二十錢均一
日支事變ニュース
水島道太郎・琴糸路主演　流涙の姉妹
メトロゴールドウイン・メーヤー超特作　クラーク・ゲーブル主演　桑港
杉山昌三九・杉山宗三郎主演　神風騎龍隊　後篇
毎日晝夜三回興行　第一回　第二回　第三回

黄金座　全鮮封切
日活　四日より七日まで　新春第二週
日活時代劇　飛龍の劍
東和商事提供　朝日・京日ニュース
多川映畫　海のつはもの
時代の霧　春寶の卷
完全暖房
6,30 1,45
7,30 2,45 10,30
7,45 3,00 10,45
9,35 4,50 12,35

ワカゲキ
一月四日より七日まで
後篇ノンケノ　猿飛佐助
大毎・朝大ニュース
踊らん哉　フレッド・アステア・ジンジャー・ロジャース主演
一回 6,50 3,20 12,05　二回 7,55 4,25 1,10　三回 8,15 4,45 1,30　四回 10,15
（換氣暖房完備）

團成社
一月四日より八日まで　上映時間午前十一時午後二時・六時三回　階上下共三十錢・二十錢均一
◇東日、大毎國際發聲ニュース、讀賣發聲ニュース
時局映畫ユナイテッド社提供　支那事變特報　進め皇軍
◇新大泉映畫作品　山田五十鈴主演　古川登美特別出演
◇ユナイテッド超大作　結婚への道
歷史は夜作られる

明治座　松竹キネマ
一月四日より八日まで
空中頌實　ニユース　劇場　かふらかさぜなよ　演
一回 10,40 6,40　二回 11,05 2,38 7,05　三回 12,33 3,03 8,33　1,58 4,31 10,00 5,56

朝日座
一月元日より七日間　晝夜二回　ヒル十二時　ヨル六時
漫才大會　清水興業社提供
特別出演　吾妻家喜美江、吾妻家敏之助、砂川初音、砂川捨丸
總指揮　山田義明

喜樂館　日活
新春第二次特別名作集　一月一日—七日—四日間
朝日・毎日・京日・支那事變ニュース
陸軍士官學校
空駈ける
劍俠戀山彥　怨讐の卷
午前十一時三十分より連續入替なし
料金　大人三十錢　學生軍人二十錢均一

浪花館
一月四日より　大泉トーキー　監督伊奈精一　男なりやこそ（ポリドール流行歌）立松晃、古川登美主演
RKO社特作　監督デビット・ハワード　大陸の快男兒　ジョージ・オブライエン　ヘザー・エンジェル主演
京都超特作品　監督竹久新　血鬪兩國橋　大谷日出夫　森靜子主演
第一、二回ハ入替ナシ　第三回目（夜間）ハ入替午前中ノ割引ナシ

京城劇場
謹賀新年　正月元旦より七日間　毎夕五時開演
オール日本　萬歲特選大會
東西大合同萬歲隊出陣　全日本代表萬歲新說
從來の萬歲大會とは斷然趣きを異にし若手粒選り全國の獨選を通過したる豪華陣
○萬歲、奇術、革局漫談　新舞踊、事變ニュース　ナンセンス等々
（御正月の御期待を乞ふ）（御祝儀）元日より三日まで晝興行は御座いません夜間興行丈で午後五時開演致します

京龍館
一月四日—六日三日間
1 東寶（大河內傳次郎主演）はやちきつり　2 誰がだ太金　3 ユース　4 國南記平太
6,15 1,20　7,40 2,45　8,50 3,55 11,20　9,05 4,10 11,35

虎狩りの體驗を
金九福氏に聽く

世界狩獵史上に類なき皇軍の大偉勲を誇る東亞の黎明を迎へるに相應しい寅歳の春を迎ふるにあたり、こゝに虎狩り物語の一篇をおくる、半島にこの人ありと知られた虎狩りの第一人者仁川府京町官選道會議員、府會議員金九福さんにスリルに富んだ虎狩り物語りをお願ひした

虎狩八回收獲二頭

私は獵をはじめて四十年になりますが虎狩りに行つたのは八回くらゐ、收獲は二匹です、廿二歳の時はじめて射ちに行つて見事に射ちとめた虎獵は雉や兎と違ひ、度胸が太くなくちやいかんし、同志二三人以上に山に詳しい勢子三、四人と二、三ケ月の日數が必要ですから用意も大變で、主として食料だが一回行つて來る費用ざつと八百圓はかゝる、服裝は普通の獵の時と變らぬが相手が相手だから護身用の短刀かピストルは持つてをらねばならん、鐵砲は見たところこんな物で虎が射てるかと思ふかも知れんが猛獸用の奴で八百米位の射擊距離があり彈丸は單發です

食ふか食はれるか

さて、いよ／＼虎狩りであるが、自分は主として江原道、黄海道方面に行つた、獸や足跡でこの山に虎の居ることが判つたら山の一方から勢子四、五人に追はせ我々同志は反對側の峠道に待ち伏せする、透かしたら最後一晩のうちに五十里や六十里向ふへ平氣で行つて了ふのだから眼を皿のやうにして眼鏡をのぞきながら待機せねばならぬ、わたしの射擊距離は五十米乃至七十米、遠くても百米くらゐで、その邊にあらはれたらすぐさま立ちあがつて虎の前面に立ちはだかり鐵砲をかまへる、この時虎は他の獸と違つて逃げ腰を見せるどころか、自分を狙つてゐる奴のゐることが判ると何なんぞと御承知のやうに、前足を力一杯ふん張り尻尾をきりゝと逆立て、グッとこちらを睨む、あの眼光は實に凄い、強烈な太陽の光りを反射するやうだといつても、さう大袈裟ではない、はじめての時は流石に自分ではがつちり構へたつもりではあるが手足が慄へたです、狙ひ定めて胸のあたりを射つ、命中すれば彈丸には極めて脆い奴であつけなくひつくり返る、この猛獸は弱い、ひつくり返つたらすぐさま近ようては危ない、大丈夫だと思つても、もう一發見舞つておいて、ゆつくり尻尾をくゆらした上で近よることが肝心です、命中したと思つてゐるのに、のこ／＼と逃げてゆく奴があるが追つかけたりしてはならぬ、手負した猛獸どもは眞に凄い獸性を發揮して死物狂ひだから氣をつけぬと命にかゝはることが多い、そんな奴の跡をつけて調べて見ると彈丸が貫通してゐる場合は、そこいらの左右の草木に血が附いてゐる、腹に當つてをれば血の色はうすく脚のときは眞赤である、手負ひした奴を追つかけて、遂に命を落した友人があるが彼氏はさう遠くへは行つてをるまいと足跡と血の色を辿りながら進んで行つた、と突如十間程先の岩かげから件の手負ひの虎が飛び出した、間一髮猟銃の銃口をとりおろすや否やぶつ放した、見事虎の顏面に命中したが猛り狂つた虎は必死に挑みかゝり、遂に取つ組みあひとなつた、咬むか咬はれるかである、そこへ同志がかけつけて虎を仕止めたけれど彼氏は虎の爪で全身傷つき毒の廻つた爲め死んでしまつたのだつた

一晩に四十里追跡

虎といふ奴は山の峠ばかり傳つて歩いてる奴で峠から四方八方睨み廻しながら獲物を狙つてゐる間はいゝが、獲物が乏しくなると山を下つて人家近くあらはれ、犬でも人間でも手當り次第に喰ひ荒す、腹一杯になると遠くへは行かず、そこいら邊の藪のやうなところへ寢ころんで澄んでゐるから發見するのに骨が折れなくていゝ虎狩には、指揮者の命令を嚴として守らねばならぬ、總て軍隊式だ聲を出すこと一切禁物、行けとか待てとか、右行左行の號令は木の枝を打つたり草を結んだりする、あるとき同行の一人が何氣なく聲を出した爲め、相當近くにゐた虎が逃げてしまひ、その奴を一晩中四十里も追つかけて行つたときは何度谷から谷に落ちたか知れなかつた

船成金の虎退治

長谷川總督の居られた時分、神戸の船成金がやつて來て、京城日報が主催となり總督府も大いに後援して總勢百名以上が五班に分れ元山附近から北鮮方面にかけて虎退治をやつた時程愉快だつたことはありません、五萬圓は要つたでせう、あゝいふ豪華版は以前にもなく、今後も恐らく無いでせう、あの時こんなことがあつた、元山から少し先の山で手負ひした奴を追ひつめたところ、或る深さうな岩穴に逃げ込んでしまつた、すつかり日が暮れてしまつたのでその穴の口を石で栓をして逃げ道を塞ぎ一行は その前で焚火に あたりながら夜を明かし腹ごしらへをして愈々穴の虎を征伐することになつた、われと思ふ心臟男が一人きりで先陣を承つて穴に進んだ、五間程行つたところで十間ばかり向うのところに異樣なダイヤモンドのやうな光を發見した、すはこそ虎だと一發ぶつ放したがうんともすんとも應へがない、ぶつ續けに二三發射つたが、あんまり反應がないんで怖しくなつて引返つた、それではと二人目が行つたが同じこと、三人目の奴は大膽にもじり／＼と銃口を向けながら近寄り胸板も碎けよとばかり射ち込んだ、ところが反應のないこと前と變りない、こんな馬鹿なことがあるかと、グット手を差しのべて觸つてみると、肌ざはりのいゝ毛物だ、間違ひなく虎であつたが、奴さん逃げ込むとき穴口の方を向きながら後しざりして行つたものと見え、それが死物狂ひの勢ひであつたらしく壁でつくり穴の中のゆきづまりの狹いところへ挾まつた爲めどうすることも出來ず遂に往生を遂げたのだつた、反應のあらう筈がない、あの虎狩りでは結局虎三頭、熊七頭ばかりに猪を大分獲つた

もう虎と緣切り

虎は死しても皮殘すで肉は實にまづい、現在では江原道から黄海道北鮮茂山方面に出かけなければ虎は見えなくなりました、この通り茂山から虎が出たからと便りがありましたが私ももう七十歳なので、そんなことして若しものことでもあつたらと方々から心配されるので、今年から虎との緣を切ることにしました、＝寫眞＝昭和九年一月三日黄海道平山郡安城面新基里の永豐山で撮つたもの＝

水産報國に全力を擧げてゐる本府水産課では客年五月朝鮮漁業組合中央會を新設、兩者が一致協力して鰮漁業を中心に積極的水産業經營に乘り出した結果昨年中の水産高は一億五千萬圓を突破すると云ふ素晴らしい業績を示し、飛躍のマン觸流に乘つた

鰮 景氣は咸北をスタートに日本海沿岸に殺到し、漁群のために網は破れ、巾着網は破れる等まるで嘘のやうな大漁の連續を描き、これがため各漁業者は殺人的鰮群の來襲にうれしい悲鳴を擧げた程であつたかくの如く半島の水産界は本府の指導、漁業組合の努力によつて軌道に乘つた躍進を續けてゐる、この秋に當り、本府水産課では半島水産界の一層の發展、水産報國の施策を期する目的から

昭 和十二年度から十ケ年計畫で毎年四十二萬圓の國費を投げ出し、漁業經營費低減施設事業の補助費に當て、安くて立派な水產品を作り、漁業者は勿論一般大衆生活の幸福をはかることになつた、とまれ、本府ではさらに水産界の明朗な大發展を期するため本年度から國庫補助金四十二萬圓を約六十萬圓に增額して、全鮮の中小漁業者の經營費低減の態勢をはかることになつた本府のこの

大 躍進に半島水産界は新年度から三段跳の大飛躍を期待されることは勿論である＝カットは北鮮の鰮の山＝

ユウモア報告書
ブ元帥訪問記
ハバロフスク國際電話　本社特派員

一

こゝは例のハバロフスク、極東特別赤軍司令部の應接室である、ロシヤ風の無細工な椅子と卓子とペーチカがあるほかには何の裝飾もない、例の五ケ年計畫とやらで極端に經費が切詰められてゐるのかそのペーチカには火の氣のヒの字もない、何しろ零下四十度、火事も凍るといふハバロフスクだ、いくら部屋の中とはいへ堪まつたものではない、今、記者はこんな殺風景な、いや殺人的な應接室で名にしおふブリユツヘル元帥と會見してゐるのだ、ブリユツヘル元帥はいふまでもなく極東特別赤軍總司令官だ、一見五十歳前後の精悍な面だましひ、短軀ながらもガッチリした體格、なんとなく不氣味な妬しい迫力……流石々々、さすがにシベリヤのナポレオンといはれるだけの貫祿は十分にある

二

『余はケイジヨウニッポウの名において、新年の初頭にあたり閣下に祝意と敬意を表するの光榮を有す』記者は會見劈頭ブ元帥と握手しながらロシヤ語でかう呼びかけた彼は無表情に默りこくつて腰をおろし『君も掛けろ』といふのであらう、顎で一つの椅子を指して爪を嚙み出した、爪を嚙むのは彼の七癖の一つださうだが、それにしても何といふ傲慢な態度だ、齒の根がガク／＼するほど癪に障つたが、こゝで怒り出しては記者の使命がフイになる、氣を取直して

『どうです、爪はうまいですか』
『……』
『爪を嚙むのは國事多端の折柄、すべての經費を切りツメよといふ謎ですか』
『……』

何を聞いても相變らず默りこくつて爪ばかり嚙んでゐる〝沈默は金なり〟といふ格言がある、金か鉛か知らぬが兎にかく癪が立つたん、かくなる上は是非に及ばず一つ怒らせてやれと思つて、彼の一番痛いところにちよつと觸つてみる

『蔣介石クンにはまんまと背負投げを食はされたね』
『何ッ？』

と來た、しめ／＼、仲々見事に痛かつたと見え、やつと口を開いた

『いや、閣下が支那の軍事顧問をやつてゐた時のことだ』
『知らん』
『エヘヘ……白つぱくれたつて駄目だネタはちやんと上つてゐるんだ』
『あれはガリン將軍だ』
『そのガリン將軍が閣下の變名だつたとは、まさかお釋迦さまでも御存知なかつたらうて』
『何を馬鹿な……』

彼は一九二四年孫文の招聘に應じて支那の武力統一に着手したが、孫文歿後の二六年その目的達成のクライマックスにおいて、蔣介石のために見ン事背負ひ投げを食ひ命カラ／＼支那を脫出した、常勝將軍の彼、スターリンを屁とも思はぬ彼にとつて、これほど大きな苦杯はない、だからあの不敵な男がムキになつて知らぬ存ぜぬと來るんだ

三

それがどうだ、あれから十何年たつた今日、彼は宿敵の蔣介石の尻押しをして支那の軍閥どもを抗日戰線に躍らせてゐるではないか、緣は異なもの乙なものといふのはこのことか

『もう、いゝ加減に支那から手を引いたらどうです、いくら手をかへシナをかへたところで支那の赤化はむづかしいと思ふね』
『下手な洒落はやめい、それよりも日本はなぜあんなに〝赤〟を嫌ふのか』

あの默り屋が珍らしく逆襲して來たシャベつてる間は爪が嚙まれないので何となく手持ち無沙汰だ

『赤は厭していかん、ゴー・エスだつて赤は危險信號にきまつてる、赤い襟出しの間から白い襟がチラ／＼するのは風俗壞亂だし、赤い信女が孕んだらコトは事件だだから……』
『ちよつと待つた折角ぢやが日本人は生れながらにして皆赤ぢや』
『？』
『君の國ではベビーを赤ん坊といふぢやろ、どうぢや』

と、ニヤリ／＼薄氣味の惡い笑を泛かべる

『まだある、地圖を展げて見い、赤いのは君の國ばかりぢや、國旗の日の丸はまさか黒ぢやなかろ』

いや、こいつは參つた、默り屋の彼もしやべるとなると相當なもんだ、記者も陣形を立て直す

『赤づくしなら負けませんぞ、銃後に燃ゆる報國の赤心、本卦還りは赤いべべ、亭主の好きな赤烏帽子、眞赤な嘘は支那のおはこ、堀部安兵衞赤鞘、赤樫、赤蜻 赤とんぼ、山で赤いは躑躅に椿、また赤いは猿のケツつてね』

立て續けに赤を並べてやると、さすがに赤い國の首腦だけあつて、

『ハラショ／＼（結構々々）』と大喜び（？）だ、その狀恰も閻魔大王が足の裏を擽られた時の如し、ご機嫌ならざるところで

『ソ聯は起つか（諸君！この一語最もイミシンですゾ）』とお伺ひを立てゝ見る、これがけふのインタビユウの最大の眼目と知れ、すると彼も去るもの

『第二次五ケ年計畫は着々所期の成果を收めつゝある』

と、睨みて他をいふ

『極東赤軍の勢力は？』
『君の知つてゐる通りぢや』
『日本を叩くなら今がチャンスだとは思はないか』
『日本とソ聯の國交は有史以來未曾有の親善關係にある』

まるで暖簾に腕押しだ、記者の不敏なる、彼をして遂に本音を吐かしめ得ないのは殘念だが、しかしこの氣むづかしい男に會見を承諾させ、假令これだけにせよ、しやべらせることが出來たのは大成功ではないかとも思ふ、それにしても何といふ寒さだ、ぶる／＼、ヘックション、いけねえ、たうとう風を引いた

四

『閣下は生つ粹の ロシヤ人ですか』
『然り』
『そんなら名前もウイスキーとかブランデーとかつけるのが本筋でせう』
『姓名は以て國籍を證するに足らず』
『だつてブリユツヘル[illegible]人臭いな』
『……といふ君の國にもロシヤ人臭いのがゐるぞ』
『？……』
『分らんかね、ゴリキー、即ち山の人夫ぢや』
『あゝ强力か、あれは固有名詞ぢやないんだ』

この時、突然廊下に慌だしい足音がしたかと思ふと、激しくドアをノックするものがある、血相變へて飛込んで來たのは蒼つくばかりの赤軍將校一名、ブ元帥に敬禮する間ももどかしげに

『閣下、そのヤボンスキー（日本人）はスパイですぞ、唯今Ｇ・Ｐ・Ｕから電話報告がありました』

とたんに元帥の眼がギロリと光つて顏に一層の凄味を增して來た

『ニイチエボー（仕方がない）射殺せい』

記者は肝つ玉がペシヤンコになるほど吃驚した、もとより身に覺えのないことなので、必死の聲を振り絞つて

『ち、ち、違ふ、む、む、無茶するな』

と叫んだが、赤軍將校は氣が荒い腰のピストルを取出すが早いか、

パン／＼パーン

×　×　×

『あつ、ウーン、さ、殘念……』
『まあ、あなた！お正月早々何をうなされてゐらつしやるの、もういゝ加減にお起きなさいよ』
『こ、こゝは何處だッ、地獄か極樂か』
『あら、まあ、オホヽヽ……』
『さては 今のは 夢か、なあーんだ』（完）＝寫眞はブ元帥＝

春立つ
柳原白蓮

今しこの大和島根に春立つと一番鶏は鳴きいでにけり
○
勝いくさ萬歳の聲のあるところ大八洲國に年あらたまる
○
初日かげこや日の本の光ぞと胸の底よりふるひたつもの
○
春の神生れてこゝに天の下山河草木みな新なり
○
茜さす東の空のほのあかりわが神國に初春きたる
○
初詣ゆきあふ人の老ひたるは父母のことみななつかしき
○
流れゆく萬歳いふや沖の方浪路の末に何かきこゆる
○
天が下やがてをさまり日の本ゆ東亞の空によき春來れ
○
出征の兵士を親にもつ子よと抱き上げたり年賀のまらうど
○
子をなしてここに幾年初春や我家と思ふもかりそめならぬ

大邱産業株式會社

國産タクシー株式會社

大邱料理屋組合

大邱旅館組合

慶尙北道達城郡廳

慶尙北道 尙州穀物商組合

慶州稅務署

慶州郵便局 關口正二

慶州警察署

慶州産業組合 理事 徐海錫

大邱府幸町 慶北果物組合

賀正
祈皇軍武運長久

慶尙北道 軍威官公吏一同

慶尙北道 尙州土曜會

慶尙北道 倭舘官公吏一同

大邱府内 官公立中等學校長會

大邱地方專賣局 職員一同

朝鮮金融組合聯合會 慶北支部 同支部所屬各金融組合

慶尙北道立 大邱醫院

大邱郵便局 職員一同

大邱稅務監督局長 土屋傳作

杉原合資會社長 杉原長太郎

慶尙北道農會 慶尙北道地方米穀統制組合聯合會

大邱印刷會社

大邱無盡株式會社

大邱府醫師會

倉島農園 倉島新一 大邱府七星町

大邱府幸町 朝鮮自動車興業株式會社 大邱出張所

大邱府幸町 共榮自動車株式會社

大邱朝鮮酒酒造組合

朝鮮大邱 棟居酒造場 電話八二四・八三四番

大邱府東本町 片木屋酒造場

銘酒 和か松 釀造元 若松商會 大邱府東門町

慶尙北道 土木建築業協會

大邱製絲株式會社
朝鮮生絲株式會社
片倉製絲紡績株式會社
大邱製絲所

慶尙北道 道廳食堂員一同

大邱府廳

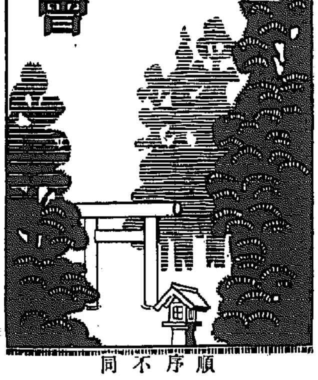
大邱米穀取引所

慶尙北道 尙州郡邑外初等學校教員團

賀正

新皇軍武運長久

戊寅新年紙上名刺交換會



順序不同

三橋孝一郎

山田忠次

山澤和三郎

鹽原時三郎

宮本元

湯村辰二郎

穗積眞六郎

水田直昌

大竹十郎

松澤龍雄

慶尚南道知事　阿部千一

慶南警察部長　山本義一郎

新義州　美座流石

雄基邑長　近藤松五郎

釜山府尹　山本坂太郎

釜山　杉村逸樓

慶南内務部長　大野裕一

杉本一守

朝鮮汽船株式會社　山田勝

釜山築港合資會社々長　池田佐忠

興南商工會長　坂元林兵衛

京城　淺野太三郎

新義州　田中喜一

新義州　岡田文雄

新義州　飯野正太郎

新義州　藤田房助

新義州　高橋春一

新義州　藤本嘉三治

新義州　谷中山

新義州　村田常一

表谷登平

安東市　原田市松

朝鮮皮革株式會社　中川以良

鐘紡京城工場　木暮保五郎

昭和麒麟麥酒株式會社永登浦工場　坂口重治

忠北道知事　金東勳

忠北道參與官　楊在河

忠清北道内務部長　吉岡三浦

咸南北青邑内　朴基孝

咸鏡南道會議員　方義錫

新義州　姜利璜

新義州　關口聰　崔益夏

第一銀行京城支店　竹内善造

朴興植

東一銀行專務取締役　河口眞

朝鮮製鍊株式會社　須藤久左衛門

朝鮮無煙炭株式會社　黒木吉郎

群山府大和町十六番地　中川哲

朝鮮銀行群山支店長　宇野吉太郎

群山金融組合長　赤松繁夫

大邱商工會議所副會頭　鄭雲用

鐘紡京城支店　片岡勉

朝鮮麥酒株式會社　靑井廉一郎

合資會社京城煉瓦　鈴木文助

宮林泰司

廣安重都

竹井新聞舖　竹井三郎

木浦府尹　[illegible]

朝鮮油脂株式會社　[illegible]

大田　[illegible]

朝鮮信託群山支店　[illegible]

群山府　樋口[illegible]

群山米穀取引所　正木[illegible]一

群山商工會議所會頭　花岡鶴松

大田　青柳[illegible]

朝鮮米穀倉庫群山支店　福田[illegible]

南鮮合同電氣株式會社　小瀬[illegible]次郎

光州　金信錫

光州　[illegible]作

浦項商工會長　[illegible]

光州　小池泉

光州　松木節郎

光州　山崎陳平

光州　杉山[illegible]一

[illegible]

忠北道會議員　川島[illegible]三郎

忠北道會副議長　閔泳殷

朝鮮運送群山支店　堀江[illegible]

年頭謹みて 明治天皇御製を 拜誦したてまつる

專賣局長　鈴川壽男

恭しく東方を拜し、聖壽の無窮を祈り奉る。この聖代に生れて、この輝かしき新春を迎ふる、何たる幸榮ぞ、畏みて聖德を讃仰し、聖徳に感激し奉るのみ。

吾人そも何を擬し孰れを履みて、この聖獻に應へ奉るべきか。承詔必謹は臣民の道である。年頭謹みて　明治天皇御製を拜誦し、分けて國體明徵、鮮滿一如、敎學振作、農工併進、庶政刷新、又銃後奉仕、堅忍持久、生業報國と拜しまつる御製を謹軸し奉る。

○

うけつぎて守るもられし千早ふる神のさだめしうらやすの國

くもりなき朝日のはたにあまてらす神のみいづをあふげ國民

萬世一系、一君萬民、皇國の礎彌々富嶽の崇きに在ること、偏に御稜威の光被に基く。當今半島に於ける國體明徵の觀念愈徹底を見つつあるは心强き極みである。

○

よもの海みなはらからと思ふ世になど波風のたちさわぐらん

わたつみの波のよそにもへだてなく親しむ友はある世なりけり

今み軍に四百餘州に進められ、朝日のみ旗は西域を覆ひて翻る。しかもこれ東亞和平の爲め、日滿一體、鮮滿一如は已に成る、日獨伊認定亦成る。日支の間眞の友交の一日も早く招來せられんことを。

○

國のため力つくさむわらはべを敎ふる道にこゝろたゆむな

すなほにもおほしたてなむいづれにもかたふきやすき庭のわか竹

洵に敎育は百政の根本を爲す。その敎育に於て知識、技能の啓發よりも、最も切實なるを要するは德性の涵養、精神の陶冶である。半島に於ける敎學振作の中心が皇國臣民精神の錬鍛に在るゝこと宜なり。

○

にひばりの田にも畑にもみゆるかな廣くなりゆくしづかなりはひ

外國におとらぬものを造るまでたくみの業にはげめもろ人

半島農業の發展目醒ましく、更に工業朝鮮の成長また日と共に著しく、農工併進の旗幟の下にわが朝鮮產業の隆昌が、皇國の進運に寄與するところは大きい。

○

曉のねざめしづかに思ふかなわがまつりごといかゞあらむと

まつりごとたゞしき國といはれなむものゝつかさよちから盡して

善き上に彌々善く、正しき上に更に正しきを期するは爲政者の責めである。行政は最も停頓、澁滯を忌む。庶政刷新のこと須臾も忽諸に附するを容さぬ所以。

もの〻ふの野邊のかりふしいかにぞと思ひやらるゝよはの霜かな

たゝかひの道にはたゝぬ國民もちゝに心をくだくころかな

事變に當りて半島に溢れた臣民の熱誠は、洵に尊き極みである。しかも眞の銃後奉仕は之を今後に於て期すべく、堅き固き覺悟を要する。

○

いかならむ事にあひてもたわまぬはわがしきしまの大和だましひ

思ふことつらぬかずしてやまぬこそ大和をのこのこゝろなりけれ

八紘一宇の大義を顯かにせん爲め百折不撓の大勇猛心こそ最も肝心である。堅忍持久克く艱難を克服し有終の美を濟すの心構へ我人共に苟めにも弛ぶことはなきや。

○

國をおもふみちにふたつはなかりけり軍の場にたつもたゝぬも

よの中はたかきいやしきほどほどに身を盡すこそつとめなりけれ

大君のまけのまにまに、萬民それぞれの職分にいそしむこと、生業報國こそは、銃後臣民皇國奉獻の道なりと信ずる。

之から本格的活動に 入らねばならぬ

【上】　財務局長　水田直昌

改め頁を更へしむる底の劃期的なる一年でありました。國際經濟界の動向は益々閉鎖的なブロック經濟の維持强化に進み、持てる國と持たざる國との運命的な對立は彌々顯著となり、歐洲に於てはスペイン內亂を契機とする政局の危機は益々深刻を加へて來たのであります

我が東洋に於きましては昨年七月七日の蘆溝橋事件に端を發した北支事件は、現地解決、事件不擴大を方針として我帝國の誠意に不拘支那抗日容共分子の無法な挑戰の爲遂に皇軍は起つて中支南支に迄膺懲の戈を執らざるを得ざるに立ち至つたのであります。而して右時局の推移に對處すべく國民經濟は準戰時體制から戰時體制に編成替されて國際收支の均衡維持、生產力の擴充、物資需給の調整の三大目標の下に軍需資材輸入力の增强と重工業產業資金の豐富なる供給とを目的とする諸施設が着々實施されると共に、他面又この急激なる變調の國民生活に及ぼす影響を緩和し、その安定を期する爲めにも種々なる對策が講ぜられたのであります。斯る戰時經濟的な措置は內外地を通じて全國家的に計畫、遂行されなければならないことは言ふまでもないことでありまして、朝鮮に於ても中央の方策に順應してその步調を一にして來たのでありますが幸にして大體に於て豫期の效果を得つゝありますことは國家のため慶賀に堪へない次第であります

即

ち財務行政に關する方面について之を見ますると、租稅に於きましては去春內地に於ける稅制の整理に關聯して、四月一日には朝鮮の特殊事情を勘案した稅制の改正を行ひまして、臨時租稅增徵令の實施、資本利子稅の改正、法人資本稅、外貨債特別稅、揮發油稅の創設、その他の改正を行ひ以て內地の稅制整理をして其目的達成上遺憾なからしむる樣協力したのであります。北支事件勃發するや政府に於ては事件に要する財源の一部を補充するために臨時的な新稅を徵收することに方針を決し、朝鮮に於きましても、八月十二日に朝鮮北支事件特別稅令を公布して即日施行せられましたが、本稅は所謂非常時立法の特別稅として創設されたのでありまして稅令の施行期間も不取敢一ケ年間とし、又その負擔は一種の戰時獻金の意味を有する處にその特色があつたのであります。その後十月五日には出征將士をして後顧の憂ひなからしめ、銃後に於ける其關係者の生活の安定を計るため、支那事變從軍々人軍屬に對する租稅の減免徵收猶豫等に關する法令を公布實施して、出征軍人及軍屬又は應召軍人に對し第三種所得、地稅、營業稅の減免を許り、一定の場合には徵收の猶豫を認むることゝしたのでありまして、是等稅務行政上の非常時的諸施設は關係方面の協力と御理解との下に順調に取り運ばれて居るのであります

經

濟界の狀況を省みまするに昨年中の貿易趨勢は十月迄の實績に對外貿易輸出九千四百萬圓、輸入一億九百萬圓を算し一昨年の同期に比較し輸出に於て五割八分、輸入に於て一割六分の增進を告げ對內地貿易に於きましては十月迄の實績は移出四億二千六百萬圓、移入六億四百萬圓に上り、矢張り一昨年同期に較べまして、移出に於て三分、移入に於きまして一割四分の夫々增加を示し新記錄を現出してゐるのであります。現下外國爲替管理の强化、輸出入品に對する臨時措置等諸般の統制が行はれて居りますにも拘らず斯る盛況を見つゝありまする原因は鮮內產業の活潑な進展の結果であることは勿論でありますが、他面滿洲國の健全なる發達につれて鮮滿經濟關係は愈々緊密の度を加へて參つた證左でありまして、將來に於ける我朝鮮の進路を示すものとして我が朝鮮のため、洵に慶賀に堪へない所であります

之等の情勢に對應しまして、昨年中は鮮滿國境關稅制度の擴張北鮮三港利用促進の爲の特殊制度の設定、鐵鋼及機械類國策に關する所要の保護等の爲朝鮮關稅特例法律の改正を行ひ、又多年の懸案であつた移入稅の輕減及廢止に關する制令が公布されまして如上施設に依り對滿洲々對內地貿易交通の圓滑を圖り、大に將來の伸張を約束せられたのであります。更に北支方面の政情の安定、經濟資源開發の進捗と相俟つて今後一段の躍進が期待せられ、又吾々は是に向つて各々その所管に從ひ邁進するの覺悟を要するものと存じます

金融界に於きましては昨年の初年は低金利政策の浸潤と準戰時體制下の生產力擴充政策に依りまして、礦業、軍需關係の諸事業は頗に勃興し、又內地事業會社の鮮內に進出するもの相踵き治山、治水、鐵道、港灣の修築等各種土木事業の施行等と相俟つて半島金融界に於ける各種取引は極めて殷賑を告げたのであります

即

ち朝鮮銀行券の發行に於きましては鮮銀券の滿洲國流通退にも不拘、七月までに於ける各月の平均發行高は昨年同期に比し左したる遜色なく、更に、七月支那事變勃發後は北支方面に於ける鮮銀券の流通增加並に鮮內產業資金の需要增加に依り、前年同期に比し月平均發行高一千五百萬圓乃至四千五百萬圓の增加を示し十一月以降は米穀の出廻りもあり、二億圓乃至二億二千萬圓臺の發行を持續したのでありまして、叙上の如き、半島經濟界の伸展に鑑み、九月一日には鮮銀券の保證準備發行限度は五千萬圓より一億圓に擴張せられたのであります

手形交換高に於きましても、九月までの累計は昨年同期に比べまして、一億二千四百五萬三千圓の增加を示し、各種銀行の預金、貸出金の取扱高も八月までに於て前年同期に比べまして、預金取扱高に於て十九億二千七百五十萬六千圓、貸出金取扱高に於て十億二千二百二十萬三千圓の增額を示したのであります

九

月末に於ける各種金融機關の預金、積金及金錢信託額は六億八千五百八十七萬五千圓でありまして、前年同期に比較しまして五千五百六十九萬五千圓の激增となつてをります、又同期に於けるその貸出は十二億八千七百二十八萬九千圓でありまして、二億一千八百六萬三千圓の增加を示して居りますが、依然預金增加は遙に貸出金の增加に及ばないのでありまして產業資金の大部分を內地に依存する朝鮮としましては、內地金融市場の戰時統制に基く硬化に依り頗る困難を感じたのであります

金利の方面に於きましては政府の低金利政策に順應して各種金融機關共逐年金利の低下を圖つてをり、昨年に於きましても國債を優遇する意味に於きまして朝鮮銀行に於ける國債擔保貸出金利の引下を見たのでありますが、一般的には貸出の增勢並に資金繰等の關係からしまして金利は反騰の氣勢を示し、特に長期資金に於て其の傾向濃厚なるものがありまして、將來に於ける國債の消化力の問題と關聯しまして、愼重考究處理を要するものと存するのであります

金融界は大體叙上の如き經過を辿つて來たのでありますが、支那事變勃發以後、戰時體制の樹立と共に、今後多額の事變公債の起債と生產擴充の爲めの事業資金の需要を豫想されると共に、軍需物資の輸入を確保し、對外爲替の水準を維持して、國際收支の改善を計るため數次に亙る爲替管理の强化と共に、事業資金の使用を調整するための臨時資金調整法が施行せられ、その他、輸出入品等に關する臨時措置に關する法律等の施行を見たのであります。以上の如く昨年度の金融界は非常時局と半島產業の躍進とを反映して頗る多事多端であつたのでありますが更に本年は非常時局の繼續國際情勢の複雜化に伴つて金融機關の活躍に期待する處も一層大なるものがあるのであります

府政の健全なる 發達を期す

京城府尹　佐伯顯

瑞氣四方に漲き、北嶽嶺を繞り歲華改まつて茲に輝しき昭和十三年の新春を迎へ、府內七十萬同胞と共に謹みて　聖壽の萬歲と皇運の彌榮を祈り奉り併せて皇軍の武運長久を祈願して已まない次第である。

惟ふに皇國の威光は上　聖天子の御稜威と聖戰にある皇軍の威力、並に銃後國民の一致協力とに依り光輝燦然たるものがあり、東洋に於ける帝國の責務を宣揚するの日一日と近寄りつゝあるの感深きは誠に同慶の極みである。

過ぎし昭和十二年の始終を顧みるに帝國は正に超非常時で、內閣も廣田、林、近衞と目まぐるしき更迭を見た程、多事多端の年であつた、前半歲に於ては、物事割合順調に經過、進展するが如くであつたが、七月に至り俄然發調を來した、卽ち支那永年に亘る排日、抗日の鼓吹は、遂に端を蘆溝橋事件に發し、北支事變となり、延て支那事變と擴大した、暴戾支那膺懲の師は、將兵凝つて百萬の鐵となり、精銳力鬪勇猛果敢、北支に在りては太原、彰德を陷れ、中支に在りては上海を略し、蘇州を拔き、金城鐵壁の稱ある首都南京亦我が手中に歸した、今や彼に反省の餘裕を與へんが爲、北支、中支何れも一時進擊の步を緩め、武備を整ふる事になつた。

洵に壯なり偉なり快絕言ふ能はざるものがある、併し彼は一向に帝國の所信を解せず、窮鼠猫を咬むの例に洩れず、不遜にも未だに長期抗戰を豪語してゐる樣である、國民政府の出樹一つでは或は戰局長期に渉るやも測られず、國民たるもの、又一段の覺悟を要する次第である。

此の意味に於て昭和十三年は從來にも增して全國一致協力し、心田を啓發し精神力を强化し、確固不動の信念を築ひ、各自の生業に精勵し健全なる國民として物心兩面に亘つて其の十全を期せざるべからず、所謂「賊は山中にあらずして寧ろ心中にあり」國民內に省みて、互に懈怠安逸を戒め、質實剛健の氣風を振作して、此の時局に備ふべきである。

今や世界の情勢は、依然として錯雜混沌の狀を改めず、列强中には猛く爪牙を現して、東洋の天地を攪亂せんとするものなきにしもあらず、何れの日か不測の事態を惹起し來るやも保し難し、國民は宜しく、一君萬民の大義を以て日本精神を强調し、民力國勢の充實を圖るの用意と信念とを堅持すべきである。

飜つて顧ふに半島の地王化に潤ひ、民業又穩なる施政の德政を謳歌し半島の首都たる我が京城府も近年益々發展著しく、殊に府域擴張爰に三歲の年を重ね、愛府心に燃ゆる府民各位の熱誠なる援助に依り着々之が進展に力め、府政の充實を圖り、我國六大都市に次ぐ體制を整へるに至つた事は寔に御同慶に堪へない次第である。工費總豫算約一億圓の都市計畫事業も愈よ昨年着手を見たので本年にありては之を續行就成其の進捗を期し、從來供給不足なりし水道も、擴張を繼續、一は之が完備を期し、一は漸次發展すべき都市の將來にも備へたい、從來消費一方の都市なりし京城も年を逐うて生產都市としての姿も加はり、昨年實行せし工業開發調査の結果に依るも工業誘致の可能性を認むるを以て、今後益々之が推進に努力する所存である。

例年猖獗を極めた流行性疾患も、漸次減少の傾向を示せるに就き、撲滅すべき現象にして、今後一層豫防注射、井戶水の消毒、野菜洗滌の監督を勵行し、病源の根絕に力むべきである。近來世運の進展と四圍の事情とに伴ひ敎育熱勃興し、爲に收容力に不足を告ぐるの現狀に在るを以て、漸次之を緩和すべく、昨年度にありても一部之が計畫を實行したが、本年度以降に於ても勿論考慮を要する重大問題の一であると思ふ

其の他社會事業敎化事業の擴張充實等、多種多樣の懸案の具體化徹底を期してゐる次第である、尙本年秋季に至りては全國都市問題會議並に全國水道協議會等も京城府に於て開催せらるゝ豫定であるから何れ之等の準備をも押し進め遺憾なきを期せねばならない、言ふは易く行ふは難し、幸に上司の御指導と七十萬府民各位の愛府心に基づく和衷協同の精神的御援助に依り、至公至平赤誠を捧げ、心血を濺いで府政の健全なる發達を期する覺悟である、何卒微衷の存する所を諒とせられ倍舊の御鞭撻と、御援助とを切望して已まないものである。非常時下昭和十三年の年頭に當り所懷の一端を陳べて賀詞の辭とする

德川軍六　長興邑內

旭酒造株式會社　光州府本町一丁目

潭陽金融組合　理事　阿部勇

湖南銀行長城支店

光州府會議員　光州消防組頭　藤本一二郎

光州青年團西部分團長　足立東三

光州刑務所　職員一同

賀正　祈　皇軍武運長久

光州警察署　警友會

全南トラック運送株式會社　代表者社長　小林善太郎　專務　原口善治

渡邊洋服店　光州府本町一丁目

三菱商事代理店　三井生命保險　佐藤德次　光州府本町

自轉車商　久野初藏商店　光州府本町

光州稅務署　職員一同

日乃出自動車株式會社　社長　吉田直良　光州府瑞石町

長城郡廳職員一同

長城警察署　職員一同

潭陽警察署　職員一同

潭陽　森平治

康津警察署　中西靜馬　外職員一同

日本電氣工業株式會社　本社　東京市京橋區寶町一ノ七　愼川鑛業所（全南靈巖郡鶴山面）

靈巖郡廳職員一同

光州府內公立中等學校長會

光州酒造株式會社　取締役社長　松田德次郎

光州郵便局　局長　衛藤克巳　職員一同

川原吉秀　光州府明治町

全羅南道會議員　內山重夫　光州府

南鮮合同電氣　光州營業所

光州鶴坡農場

光州府內各公立初等學校

榮山浦邑　米穀肥料商　森峰胖一商店　電話三九番

潭陽　松田方仲

潭州金融組合　理事　朴璟杓

康津公立農業學校長　齋藤茂　外職員一同

長興警察署　署員一同

康津　金忠植

康津稅務署　職員一同

寶城郡廳　職員一同

全南道議　康津　車鍾彩

光州府光山町　東寫眞館　電六二三番

海南警察署　安達桃衛　外職員一同

全南運送株式會社　渡邊現治

靈巖警察署　職員一同

光州　鹽屋本店　魚谷與藏

光山郡廳職員一同

光州醫師會

全羅南道漁業組合聯合會　理事長　橫山朝雄

吉田清三　光州府黃金町

光州金曜會

光州府廳

全羅南道各金融組合　全羅南道各產業組合　朝鮮金融組合聯合會　全羅南道支部

○商談の御用は先づ當館へ！　全羅南道商工獎勵館　○お土產には是非道產品を！　電話五二四番

辯護士　岩橋朝一　光州府明治町

會席御料理　萬よし　富田つよ　光州府光山町

全羅南道立光州醫院　職員一同

會席御料理　富久乃家　原野貫一郎　光州府本町三丁目

全羅南道廳　高等官食堂員一同

潭陽郡廳

各種產業團體

大邱府會議員 高田官吾

大邱商工會議所

大邱商工會議所內 大邱卸商組合

大邱府錦町 佐治商會

食料品と朝鮮土產品 九州堂 大邱驛前 電話五七三番

大邱府本町二丁目 株式會社 南方商店 電話長一六一番 振替京山一六一番

慶尚北道立 安東醫院

慶尚北道 安東警察署

慶尚北道 安東稅務署職員一同 安東酒造組合職員一同

慶山郡 同農會 同水利組合

慶尚北道 慶山郡初等學校長一同

慶尚北道慶山 金融倉庫株式會社

大邱憲兵隊長 酒井周吉

大邱府東雲町二五六 牟田口利彥

大邱稅務監督局稅務部長 倉島至

大邱稅務監督局經理部長 岸本清人

慶尚北道畜產課長 李昌根

大邱警察署

大邱稅務署 職員一同

大邱府 古谷治輔商店 電話四八番五五番 電話長七四番 市場電話七八二番 自宅電話一二七番 電略(フル)又ハ(フ)

大邱商工會議所議員 佐藤伊三郎

大邱府北龍岡町?番地 合資會社 龍岡組 電話九九二番

大邱府新町 慶北商工株式會社

大邱府錦町 梅根商店 梅根菊平

大邱府 堀越友二郎

大邱府 朝陽無盡株式會社

土木建築請負業 和洋建築材料商 大邱府元町 合資會社 坂野組 電話長三四〇番 三八三番

大邱府七星町 朝鮮麯子製造株式會社 電話長五八〇番 振替京城三四九四番 電略キス(キヨク)

大邱府東城町 大邱朝鮮酒釀造株式會社 電話九六八番

朝鮮石油株式會社代理店 株式會社小野寺石油店 大邱元町驛前

大邱映畫同會

大邱驛 同機關區 同保線區

大邱府錦町壹丁目四十番地ノ壹 朝鮮運送株式會社大邱支店 支店長 佐々木敬三郎

朝鮮大邱府 松前倉庫

大邱金曜會
朝鮮銀行大邱支店
合同銀行
商工銀行
殖產銀行大邱支店
漢城銀行大邱支店
東洋拓殖會社大邱支店
朝鮮信託會社大邱支店
朝鮮貯蓄銀行大邱支店

大邱府元町二丁目二番地ノ一 南鮮運輸株式會社

大邱府京町 達城券番

大邱府京町 映畫と劇場 万鏡館

大邱府內 公立小學校 公立普通學校 公立商業實修學校 公立幼稚園 職員一同

三共物產株式會社 檢川麯子株式會社 清道酒造株式會社

慶尚北道 倭館酒造組合

慶尚北道 蠶種業組合

慶尚北道 安東戊辰會

慶尚北道 盈德土曜會

安東邑長 後藤喜則

慶尚北道 安東邑事務所

慶尚北道 安東郡廳

慶尚北道 永川邑官公吏一同

慶尚北道 慶山酒造株式會社

慶尚北道 清道郡官公吏一同

英陽郡英陽 二火會 (イロハ順) 池田仁作 西原正夫 李聚國祚 韓上源 村上茂 鄭二鉉 金圓學 北村潤衞 裴田光治 尹木星 豊田官一 李連榮 谷川仙郎 桑原十賀 青井幸之進 金嶽道 宮崎孫文郎

南鮮合同電氣株式會社 大邱支店

釜山府本町二丁目廿五 株式會社 立石商店 電話長四〇〇七番

釜山水產會社

慶尚南道廳 高等官食堂

釜山府大廳町 香推源太郎

釜山凡一町 朝鮮紡織會社

南鮮合同電氣株式會社 釜山支店

鎮南浦府會議員 商工會議所議員 尹炳七 秦恕夫 畠繁松 李榮琯 林禮根 柳良植 野田良二 藤本盛一 明賀七郎 佐藤長五郎 象山郁次郎

西鮮日報社長 長谷川照雄

平安鐵道專務 吉永武揚

穀檢支所長 妹尾與錄

海事出張所長 鈴木一

移出牛檢疫所長 原三吉

西石郵便所長 前田貴

道立醫院長 高木季生

稅務署長 大山倉治

稅關支署長 竹村喜久司

米倉支店長 吉田基

府尹 外堀藤吉

金組理事 爪生一雄

末永淳

日鮮海運支店

耳鼻科 金醫院

旭商會

食料品雜貨 イカリヤ

大和組

信一合名會社 林誠敦 馬載坤

古賀醫院

運送石油 丸五商會

朝日組支店

朝鮮商工株式會社 副社長 中村仁

商工會議所議員 商工會社支配人 大清秋吉

鎮南浦府會議員 商工會社監査役 澤田吉平

鎮南浦 無盡株式會社

山七商會本店

朝鮮運送支店

道立鎮南浦醫院

府會議員 黃潤

濟衆醫院

共立醫院

至誠醫院 市村久三郎

內地人 貸座敷組合

朝鮮總督府 穀物檢查所 鎮南浦支所

商工會議所議員 高泰和

鎮南浦 漁業組合

府會議員 濱田太平

鎮南浦府龍井町一番地 日本製粉株式會社 鎮南浦工場

文化果園 朴文燦 鎮南浦府外漁潮里

鎮南浦 吉善精米所

鎮南浦 果物興業株式會社

龍岡 黃龍會

平安南道道會議員 鈴木種一

鎮南浦 汽船會社

鎮南浦府會議員 黃致秀

柳原釀造所 藤本釀造所

鎮南浦警察署 署員一同

鎮南浦 土木建築協會

江西申合會

鎮南浦商工會議所
會頭 加藤藤太郎
副會頭 尹基元
同 河村國助
理事 石川益次

日本鑛業株式會社 鎮南浦製錬所

西鮮合同電氣 鎮南浦支店

鎮南浦 商盛會

公和商會 尹致權

鎮南浦府龍井里 魯起元

青木組

株式會社 鎮南浦自動車

朝鮮米倉 鎮南浦支店

鎮南浦 三和券番 電話五二一 八四三番

鎮南浦 鹽販賣組合 電話一六九

鎮南浦府

朝鮮商工株式會社 鎮南浦府三和町

平安南道會議員 鎮南浦府會副議長 李鍾燮

映畫殿堂 衆樂館

百貨店 萬貨昌

朝鮮製粉株式會社 鎮南浦工場

朝鮮精米株式會社 鎮南浦工場

鎮南浦府碑石里 共生社勞働部 三和組 社長 姜偉情 電話一二八・一六六・三三五・四二六 電略 강 又 キヨウ

株式會社 朝鮮平安鐵道

左官材料 精米用石粉 建築タイル エムテキス 株式會社 養信商會 社長 趙鳳翼

鎮南浦 產業組合

鎮南浦府碑石里 棉布 綿布 貿易商 白南薰商店 電話五四六・五四七番

齋藤精米株式會社

鎮南浦 公立學校職員一同

鎮南浦 土曜會

西鮮三道 丸ナ穀物協會本部 鎮南浦府三和町

文藝

隨筆　非常時局と文藝

吉江喬松

燈火管制 が一年も二年も進攘して行けれ、眞暗な都會生活が營まれてゐるなかへ私達を乘せた汽車がはいつて行つた。それは千九百十六年の秋、さうしてただに陰鬱のなかに喘いでゐるロンドンの夜であつた。

汽船の到着する時間も不定である、まして汽車の着く時刻なぞを前もつて知らせるわけには行かぬので誰一人迎へてくれる者もない初めての、而も眞暗な異國の停車場で乘物を探し、宿りを求めるといふ事はなかなか容易なことではなかつた、辛うじて着いたホテルがこれも眞暗である、鍵を渡されて部屋を出て用を足して暗い廊下を手探りで歸つて見ると、部屋の戸口は獨り手に閉まつてゐてはいることが出來ない、こんな闇の抜けた旅客も多くはゐまいが、燈火管制なるものに生れて初めて打ち當つた者にとつてはこれは相當骨の折れる、併しまた深刻な經驗でもある

戰爭と闇 とはつきものである。今後の戰爭には必ず暗黒がその舞臺の背景をなすものだといふ感じをつくづくさせられた。この闇黒は緊張そのものである。その中へ溶けこんで凡ての人が息をこらしてゐるのである。いつこの闇が爆彈に突き裂かれるか知れないのである。世界大戰の間中に六百何回の空襲を受けたといふロンドン、その大都會が身をかくすために黒幕を引きめぐらした中へ出し抜けに飛び込んで行つた者にとつては、その經驗は相當異常なものであつた。

それから巴里へ渡つての最初の二年間、これも闇から闇への都市生活であつたといふべきである、暗い中で食事をすませて下宿屋へ歸つて來る、その途中で出し抜けに闇の中から銃劍がひらめいて『誰だ!』と呼びかけられる、誰だといはれたつて名前など言つて見たところで間に合はない『日本人だ』と答へるより仕方がない、それが何も異邦人だけを誰何すると定つてゐるのではない、屢々同國人が誰何ぜられて『佛蘭西人だ』と答へずにはゐられないのであつたさうした經驗、度々自分が『日本人だ』と口に出して言ふといふ事は、少くもそれを一生涯口にする機會を持たぬよりは、より多く、またより強く日本人であるといふ意識をまた自覺を持たしめるものであることは事實である。これはいかなる國人にとつても同様なことであらう。戰爭は言ふまでもないが、常は意識も自覺もしないであらう民族心を端的に發揮せしむるものである

民族心の 意識及び自覺なるものは必ずしも排他的なものを意味しはしないが、或時機に於て強くもまた深くも一種の大きな體驗となつて全身全靈的に浮び上るものである。個人意識の解脱である。そして同時に現在我々が切實に意識し體驗し得る心の鄕土の最も廣い領域である。心靈の一段の飛躍である。一層の伸展である。かうした經驗は戰線に於ては勿論銃後に於ても、また異邦人等の間に在しても味ふところのものである。この民族心の發露がやがて更に廣き展望へと人々を導いて行くのである。

この心の廣い、世界通識の發現、その發現自覺を全體化し、具象化して行くところに文藝の一段の飛躍が生ずる。個的現象へ浸透し來る廣い背景現實の把握である。この現實は制限せられたまた閉塞された個的意識だけでは左右し切れない大きな力となつて動くのである。文藝が身邊事象に取材してゐる限りでは個的意識でもそれは整理し得らるるのであるが、かうした客觀事象の大きさ机上の想像だけでは左右し切れないものがあるのである、さうした大きな全面的な動きを把へ、現はさうとするためには必然的に一種の新たな文藝ジャンルが發達せずにはゐられぬ、さうした新らしい文藝ジャンル、それは近頃頻りにもてはやされるルポルタージュなる文藝である

これは完 成した形體ではない。文藝の過渡期的な作品の種類でもある。一種の通信文藝、報告文藝、或は一種の解釋でもあれば、また感想でもあり、とにかく個的意識では左右し切れぬいは大きな自然の論理の展開の中に立つてそれに對する感嘆興奮、或はその必然意義の把握に對する努力を見せる文藝である。或る作家の抱く世界觀の抱括的な展望ではなくて、巨きな必然事象に展開する中に包まれた個々人がその現前の事情に感激し、努めてその意義を解釋し、把握せんと努力した報告であるのである。文藝が一飛躍をなす準備期中の、併し旣に新しい個々の意識では間に合はぬことを示す種類のものである。

この準備期を正當に導くことによつてこそ次に來る大きな抱括的な文藝表現が期待されるのである。日清、日露及び日獨戰役の後に於て日本の文藝は俄かに其等の事象以前よりは一段の發展飛躍をなしたとはいへ實であるけれどもいまだ世界的の進出にまでは至らなかつたといはねばならぬ。ナポレオン戰役後に於てロシアが敢然として立つてその全的自信をもつて初めて世界の文藝的表面へその巨然たる姿を示めし得た如き譽にはいまだ到らなかつた。トルストイの『戰爭と平和』の如きはナポレオン戰役なかりせば作られなかつた巨篇である

日露戰役 に於ても、世界大戰に於ても、ルポルタージュは十分の意味に於て發展せしめらるゝに至らなかつた。一般的の感興感激は強かつたにもせよ、民族心の自覺感醒が理智的にまでいまだ徹することが十分でなかつたのかも知れぬ。今回の支那事變に於ては我々日本人はその事變そのものの意義を十分に認識し 從つて日本人としての使命、及び責任は全般的にまた共通的にすべての人が十分に自覺してゐるのである かかる場合に於てこそルポルタージュなる文藝は十分の意味に於て發展せしめられ得るのである。

この時機こそは最も大切である寸分のゆるみもなき意識的緊張を持續しなければならぬ。その全體的緊張の中に於てこそ日常茶飯事には見ることの出來ぬ我々の深奧な貴重な生命の動きが示めさるゝのである。眼下當面に於てはさうした貴重な生命の動きを直ちに文藝的表出に具現化するには餘りにも早急な動きである。それを抱括的な表出とするには餘りにも急速な動きである。それは取りあへずルポルテし、把握し、報告するよりほかはなし得られまい。けれどもさうした仕事と、さうした經驗を重ねないことにはやがて來る抱括的な巨きな自信のある文藝飛躍はなし得られないからである

私は日露戰役に關するルポルタージュ文藝として最近になつて始めて讀む機會を得た逸見勇彦自傳『滿洲義軍奮鬪史』くらゐ興味のあるものに接したことは稀れである。この書物は逸見勇彦（別名江南波）が曾て短期間ではあるが同じ學窓に机を列べてゐたためであるなぞといふのでは決してない、また彼が曾て西南役に勇名を轟かされた逸見十郎太の一粒種であるが故でも決してない、彼の数奇の生涯を通じての滿洲義軍の全貌と、日露戰役の背面若しくは側面觀察の命を投げ出しての壯烈な把握とその人間としての誠實眞摯、舊の野に在る英雄兒の面ざし、人きな[illegible]でのものが隆起煽動する切實感をひしひしと感ぜしめられずにはゐられぬものである、ルポルタージュ文藝としては最上のもの、或はこの種の文獻は文藝史家が見落すかも知れぬ懸念があるが故に特に私はこの場合に於て明記して置きたいと思ふのである

支那事變 に關して私は幾 に差し當つてはこの種の幾多のルポルタージュ文藝の續出し輩出することをこそ望むのである。たまなかのまとまつた文藝作品なぞよりはこの種の文藝こそは有難いものである。それこそやがて來るべき大飛躍文藝の築地を開いて行くものであるからである。

試筆　李威堂氏

支那正月の思出　春聯・對聯

野邊地天馬

も ちろん支那といつても其の土地は廣い。いはゆる四百餘州と呼んだ國だ。然し近頃は大體これを南支、北支といつて二つにわけて呼ぶ。そしてお正月はどちらにもある。その風俗は殆ど同じで、まづ大同小異といふところだ。支那も今は中華民國になつて太陽曆を用ひることになり、新年も太陽曆、すなはち新曆によつて一月一日となるのだが、これは表向きのこと、文書や公事の上だけで本當のお正月、依然として太陰曆なら舊曆でやつてゐる。この點日本の或る地方と同じことだ。それ伊々支那に於ける租界地（民留地）で歐米人、新曆の十二月廿五日にクリスマスを祝ひ、ついで日本人は新曆のお正月を迎へる。ことに日本人のお正月は松や輪飾などをわざく内地から仕入れ、日本風に門やその他へ飾りつけて『お目出度う』を交はすのだが租界地以外のところはまだ依然として舊年なのだ。

そしてもの一と月も經つと彼等のお正月が來る、その前つまり暮のうちに日用品は何でもかでも出來るだけ買込む、それで歲の市といつたやうなものも立つ、食物から焚炭油までその家相應に買込むのだがその理由は後でわかる。

いよく『明日は元旦』といふ前夜、私たちなら除夜といふのだが、その夜は盛んに爆竹、花火をあげる、その音は實に賑やかなものである

その爆竹の竹をそのまゝ亂雜にして息んだところへ靜かに元旦が來る、そして凡ての商店は休む、凡ての家が仕事をしない、ひつそりした平和なお正月になる

そ の家といふ家、建物といふ建物は小舍でも納屋でも倉庫でもいや舟にも車にも『對聯』また『春聯』といふものを貼りつける

それは紅い紙にお目出度い文句を書いたものだ、例へば鶴は千年、龜は萬年とか、一陽來復、千里同慶とかいつたやうな意味のものである。

その紙の大きさはまちくで一定しないが、それは日本の門松や輪飾と同じ意味で、家の大小、貧富、また好みによつて大きいのもあれば小さいものもある。それが到るところに貼り出されるから實に美しいものである。

たまく紅い紙の代りに白い紙に書い樣をつけたのがある。それは喪中の家だ。そして年賀訪問なんて喪きはしない。やはり文句はお目出度いものであるが紙の色によつて直ぐに區別がつくのだ。

一體支那では紅がお目出度い色で、白は不幸の色になつてゐる吉凶のことをいふのに紅事、白事と呼んでゐる。年賀の禮儀もあるが、これは至つて簡單で、每戸で入口のところに狀差しみたいな、つまり名刺受けをさげておく、そこへ名刺を入れて過るのだが家の主人は 暫に出かけない、下僕が主人の名刺を配達するだけのことだ。その名刺なるものは紅い唐紙に氏名を木版刷りにしたものだ、中には私たちのやうなカードの名刺を使ふ人もあるがそれは頗るモダーンな人と言はれてゐる

租 界地では新年三日間の休業だが彼等のお正月は十五日間の休業で、商店は物を賣らない。私たちは隨分不便な思ひをする。尤も中には十五日以前に店をあけるものもあるが、それも本氣で商賣をするといふのでもないから大體半月の休業だ。そこで家々で暮のうちに、出來るだけ買込んでおく譯なのだ。半月のあひだ仕事を休んで何をするのかといふに、その間かれらはお正月を滿喫しつゝ飽食的に遊ぶのだ。來る日も來る日も、御馳走を食べて遊ぶ、いや遊ぶといふよりは騷ぐ。支那固有の樂器―銅鑼―を鳴らして歌ひ且つ騷ぐのだ。誰か樂器を鳴らすのかといふに、それは家々の者がやる、つまり家庭音樂だ。時は冬のことでもあり、また屋外遊戲も盛んでないから屋内で賑やかに騷いでたてゝ歌ふのかもわからない。

屋外遊戲としては足で蹴る羽根がある。また異様な―百足虫のやうな形の紙鳶がある。また竹と紐とであやつる獨樂がある しかし一般にはたゞ安逸に過すのがお正月だ。そして御馳走といふのは豚料理である。豚無くして支那の御馳走は無い

それから支那ではお餅を搗くかといふに南支の方では『年糕』といつて新粉餅みたいな物を作つて食べる。固くなると豚料理などの中に入れて煮る。北支の方ではあまり見受けない

半 月ものあひだ御馳走をたべつゞけて、それでは大いに飲むのかといふに、支那人はあまり酒はやらない。日本のお屠蘇なんどといつたものも飲まない。一寸考へるとお屠蘇―[illegible]を採りて支那らしく思はれるが、あれは用ひない。日本で工夫したものらしい。

いよく十六日から仕事をするのだが、十五日は滿月の日でもあり、その晩は『燈節兒』といつて燈籠祭をする、每戸で燈籠を買つて吊りさげる、中には兩い竿に山型に紐を張つてイルミネーション式に吊る家もある その夜商家では家族も店員も假裝して夜どほし踊る、一種のカーニバルだ、踊り明してお正月の名殘を惜しむのであらう

舊曆のお正月の頃、上海方面はむろん春らしいし、北支でも幾分ぼかくした感じがして來るから新曆よりも春らしい感じが强い。一陽來復はむしろ舊曆にある。梅は室咲きのだが水仙の花はもう美しく咲いてゐる

不連續線

立て札

寒いですね。窓ガラスなんか、すつかり凍りついて、まるでスリガラスみたいですもの。

外へ出るのはつらいが、その代り、スケートが出來ることを思ふと、家の中へなんかすつ込んでゐる氣はしませんよ。

でも、遠くへ行くのは臆劫だから、近くの鶴舞宮へ行つたんですが、私だけぢやない。あの小さな池は、滑る人で一杯でしたよ。

スケートをつけて、手袋をはめて、さて、氷の上へ一歩を踏み出さうとしたが、ふと、持つて來た寶貴品のことが氣になつて、どこへ仕舞はうかと迷ひましたね。

オーバのポケットもいゝが、うつかりすると掏られる心配があるし、誰か知つてる人でもゐれば、ちよつとの間、その人に持つてゐて貰はうと思つたんですが、それもゐない。困りましたよ。

ところが、ちらと立て札が眼につきました。

『無料携帶品預り所』

あゝ、これは好都合だと、そちらの方へ駈け出しさうにしましたが、私は躊躇してしまひました。

でも、あの立て札の文句は、ただの携帶品を預る所といふ意味で金のかゝつてゐる私の寶貴品は預かつて貰へぬといふ氣がしたし、持つてゐるものを無料で預るといふのなら『携帶品無料預り所』としなければなりませんものね。

空中魚雷　三萬二千呎まで上昇

英國ウエルスの山岳地帶で一二エーカーの地面を鐵條網で圍ひ、その中で航空界の新防空武器『空中魚雷』が祕密裡に製作されてゐる。發明者はグリンデル・マ・シュース氏で、敵機の空襲を防禦するため英國の上空に『空中魚雷敷設面』をつくることを目的とするもので、この『空中魚雷』は尾端に爆彈をくつつけた鋼條を取付けたパラシュートを發射する仕掛けになつてゐるのである、これに發射の燃料を使用して數秒間に三萬二千呎の高度まで上昇することが出來、この高度に達した時二十筒以上のパラシュートを發射するのである。いざ敵の空襲といふ場合には陸上陣地よりこの『空中魚雷』を連續的に打ち上げ、それから又廿筒以上のパラシュートが發射され、かくして空中に廣大にして强固な『空中魚雷敷設面』がつくられるのである

蒲生三勇士　(65)

一龍齋貞丈演　木俣茂彌畫

綱五郎の驚愕

お話變つて安井綱五郎は、蒲生の屋敷の水門を打破つて大川へ流れ出し泳ぎ泳いで何れへ上りましたか、辛うじて夜道を致して小田原へ歸つて參りました、此處は江戸から廿里しかありません所だが日蔭の身の上で却々二日や三日では行かない、實に薄氷を踏む思ひをして、五日で漸々の事で小田原へ入りましたのでございます

夜に入つて彼方此方と樣子を窺ひながら、我家の門へ來て見るとピタリ閉まつて居ります、點燈一つ點いて居ず、見れば表は蜘蛛の巢だらけ、事に依ると父上や母上は江戸表の蒲生の屋敷へ引かれて行つたかも知れぬと、斯う思ひましたが、何處へ尋ねるにも滅多の所へ訪れる事も出來ない、ウム然うだ伯父さんの所へ行かうと、小田原寺町に道場を開いて居る、松井助太夫といふ伯父さんの所へ參り表を叩いて『今晩は今晩は』二度聲を掛けたが、浪人飢寄の事で別に門番なども置かない、ヒョイと氣が注いて見ると呼子綱があるから、其れを引つ張るとガラガラと大きな音がする。

○『オー何誰だな』

綱『一寸どうかお開けなすつて……』

○『アヽ只今開けて上げる』

バタバタと其處へ出て來て

○『何誰』

綱『其處は用人の久作ではないか』

○『オヤ貴所は綱さんではございませんか』ガタン、ギー

○『イヤどうもお待遠樣、サアどうぞお入りなさい、モウ貴所御心配はない、決して逃げ隱れせんでも宜い、スッカリ事が分りました』

綱『左樣か』

○『併し又貴所がお開きなすつたら驚く事がありますぜ』

綱『左樣か』

○『兎も角も』

と案内をされて奥へ通ると松井助太夫、膝に手を置き、待ち受けた樣子であつたが、

助『オヽ綱、能う參つた、挨拶は後に致すが宜い、扨て何から話を致さうか、お前が蒲生屋敷を逃げて了つてから、是々云々』

と、神奈川の宿に、惡人角太郎を召捕りに向つた蒲生の家臣村上新左衞門は返り討たれ、父の清兵衞はその罪の爲め、蒲生家に曳かれ、君命に依り、村上新左衞門の一子大助に打首になつた顚末から、その村上大助こそは綱五郎にとつては骨肉を分けた實の兄である事等々を物語りました、是れを聞いて安井綱五郎が、

綱『アヽ左樣でございますか、道理こそ村上大助殿と面を合はせし時、何となく懷しく思ひましたシテ母上は其後如何なされました』

助『お前の母ではあるが、彼は女丈夫の者であるから、お前の行方と角太郎を探る爲に、西國を指して出立を致した』

綱『アヽ左樣でございますか、シテ村上大助殿は其後如何なされたか御存じでございますか』

助『是れとても矢張りお前と角太郎の行方を尋ねる爲め殿樣よりお暇を戴き、供一人を連れて出立を致した、是れは何れへ參つたか能く存ぜんが、何に致せお前の當地へ歸つて來るのを、私は心待ちに待つて居つたのだ』

綱『アヽ左樣でございましたか、其れは飛んだ御苦勞を掛けまして相濟みません』

助『併し今日はお前も罪人ではないから少しも心配する事はない、何處へ參らうと差支へないから其邊は安心をしなさるが宜しい』

綱『有難う存じます』

助『其れでは今まで隨分苦勞を致したのであるから、二、三日滯在をして、充分に心氣を養ひ、其れより何れへなりとも出立を致したら宜しからう』

綱『ハイ折角の伯父上の御言葉ではございますが、一日も早く村上大助殿にお目に掛り、改めて兄弟の名乘りを致し、其れより龍角太郎を討取つて、再び會ひの者一同一つ所に集まり、種々物語りなどを致し度う存じます、事は急げと申しますから今晩一晩だけ御厄介に相成り、明朝早々出立を致し度いと存じます』

朝鮮運送株式會社　社長 村上義一　專務取締役 河合治三郎

京城府南大門通一丁目十九番地　朝鮮林業開發株式會社　社長 矢島杉造　理事 伊藤重次郎　理事 足立利夫　理事 小林準一郎

京城府三坂通三三五番地　鐵道工業株式會社　京城出張所　電話龍山(4)一四一六番

京城西四軒町一八二　貴仙　電話本局二七二〇番

正賀　祈皇軍武運長久

井邑學校組合會

井邑郵便所長　是松國策

井邑　金曜會

南宮合同井邑出張所長　森國美一

扶安郡廳　扶安郡各面　扶安郡各公立學校

新泰仁親和會

井邑郡廳　職員一同

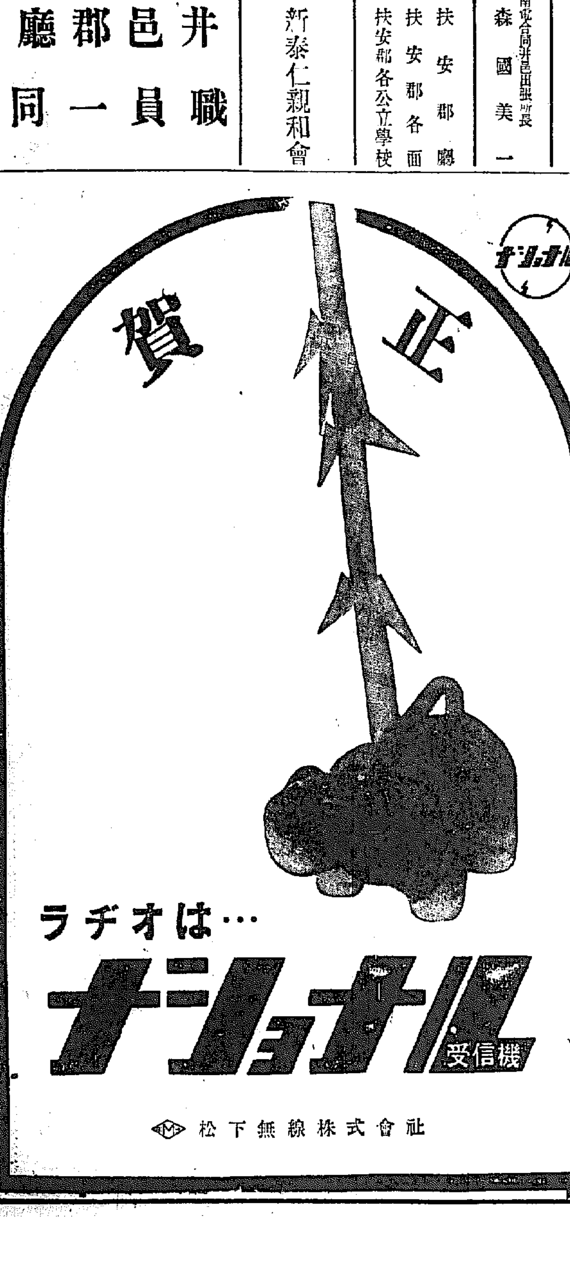
京城公立中等學校長會

京城府花園町九七　染料商　東華洋行　電話本局三九九二番

京城府旭町一丁目九二　草津屋旅館　電話本局(2)三五三七番

宜川邑　朴龍雲

銅像製作設計　尹張幸男　電話龍山五三四番



京城府鍾路二丁目　日清生命保險株式會社　朝鮮支社長 桑本律藏

京城府京町十一番地　時計寶石 眼鏡機械　朝日商事株式會社　電話龍山四一三四・一〇〇四番

京城府龍山　南券番　電話龍山一〇二五番

京城旅館組合

京城　金基德

京城府永樂町二丁目　朝鮮中央無盡株式會社　電話代表(2)七一二一番

株式會社朝鮮取引所　理事長 荒井初太郎　理事長代理 小杉謹八　常務理事 秋山滿夫　田崎藤雄

胃腸をこはし易いお正月の常備藥

急性慢性胃腸病にはアイフ

昭和十三年一月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

一月の行事

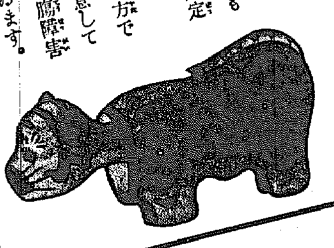
- 一日 四方拜・廻禮・惠方詣
- 二日 初荷・書初・諸事始
- 三日 元始祭・玉競神事(筑前)
- 四日 政治始・諸官衙御用始・初相場
- 五日 新年宴會・初水天宮
- 六日 消防出初式・門松撤去・小寒
- 七日 七草粥・住吉神社白馬神事(大阪)・太宰府追儺祭
- 八日 陸軍始・觀兵式・學校始業・初藥師
- 十日 陸軍初年兵入營・十日戎・初金比羅
- 十一日 鏡開・帳開・土藏開
- 十四日 注連飾撤去・下加茂神社武射神事(京都)・四天王寺どや〳〵(大阪)
- 十五日 海軍始・小豆粥・
- 中旬 御講書始・歌御會始・大相撲春場所
- 十六日 藪入・初閻魔詣・聖日
- 十七日 初觀世音
- 二十日 骨正月・鏡台祝・夷講・義仲忌
- 廿一日 初大師・西新井總持寺開帳・寒稽古・大寒
- 廿二日 大原御弓祭
- 廿四日 阿倍野祭(大阪)・天理敎春季大祭
- 廿五日 初天神・鶯替神事・契仲忌
- 廿八日 初不動尊・初庚申
- 卅一日 陰暦元日

一月の衞生

お正月は到る所酒あり、御馳走ありで、種々の飲食物を暇や機會のあるまゝに攝りますから、知らず識らず飲み過ぎ、食べ過ぎて胃腸をこはし易いものでありますが、その上、運動不足や夜更かし、過度の喫煙等の不攝生が連續すれば、胃腸機能はいよ〳〵惡化して、二日醉、食もたれから、嘔吐、腹痛、下痢等、胃腸カタルの誘發は當然でありませう。

殊に平素から餘り胃腸の丈夫でない方や慢性症の人が、小康に油斷して不養生でもしようものなら、症狀の再發、亢進は必定であります。

ですから、胃弱の人は勿論、健康な方でもお正月だけは治療藥アイフを用意しておいて、飲み過ぎ、食べ過ぎからの胃腸障害に備へるのを衞生常識とせられてゐます。



その筈でせう、治療藥アイフには病原、對症二重の作用があり、主藥が胃腸内壁の病變部に沈着して炎症を癒し、粘膜を强め、弛緩を引緊め、分泌や蠕動の異常を整へるとゝもに、腸管内の有毒物質を吸着して體外に排泄する等廣汎な病原治療を營み、併せて、胸やけ、噯氣、嘔つき、胃痛腹痛、下痢、嘔吐、消化不良、食慾不振等の諸症狀をも消退して機能の恢復を速めますから、飲み過ぎ、食べ過ぎからの急性症は素より、慢性的な胃腸病にも効果的な道理であります。

一月の食品と榮養價

品名	蛋白質%	脂肪%	含水炭素%	無機質%	熱量(百瓦中)
鯛(少脂)	二〇・二	〇・七	—	一・三七	八六
伊勢蝦	二一・五	〇・四	—	一・七七	九二
鱈(鹽)	一八・六	〇・二	—	三・五五	七八
鮪(少脂)	一七・一	四・五	—	一・四四	一〇五
鰤	二一・〇	一・五	—	一・一六	一〇四
さはら	一九・二	一・七	—	一・三五	八九
寒鯉	一七・四	九・七	—	一・〇三	一五〇
寒鮒	一七・九	一・四	—	一・二三	八二
たこ	一六・四	〇・三	—	一・三六	七〇
なまこ	八・八	二・七	—	一六・〇〇	五七
白魚	一八・七	〇・三	—	一・五八	七五
牡蠣	八・五	〇・九	五・〇	〇・二七	六四
赤貝	一五・八	〇・五	—	〇・七二	六五
蛤	一三・二	〇・八	—	一・八八	五八
數の子	二〇・六	一・三	—	〇・四五	九七
鴨	二三・七	三・一	二・三	一・〇九	一三二
大根	〇・七	—	三・七	〇・四九	一六
蕪	一・六	〇・一	二・八	〇・七八	一六
人蔘	一・三	〇・四	七・四	〇・七七	三四
牛蒡	一・四	〇・一	二五・二	〇・六三	九八
蓮根	一・七	〇・一	一〇・九	一・二三	四六
くわゐ	四・〇	〇・二	二四・三	一・四四	一〇五
百合根	三・三	〇・一	二四・二	一・三五	一〇二
うど	一・一	〇・一	二・五	〇・五七	一四
はうれん草	二・三	〇・三	一・七	一・三〇	一五
葱	〇・九	〇・二	五・〇	〇・六四	[illegible]
芹	二・〇	〇・一	三・二	一・〇四	二二
小松菜	二・五	〇・五	一・二	一・三八	一七
蜜柑	—	—	九・九	〇・五〇	四一
林檎	—	—	一五・三	〇・七〇	五七
餅	七・〇	〇・二	六〇・二	〇・一七	二七一

慢性胃腸病にはアイフ

藥價

四日分	七十五錢
八日分	一圓五十錢
十七日分	三圓
特製十一日分	五圓
重症には	特製アイフ
便秘症には	加減アイフ

全國到る所の有名藥店にあり

大阪市東區淸水谷西之町

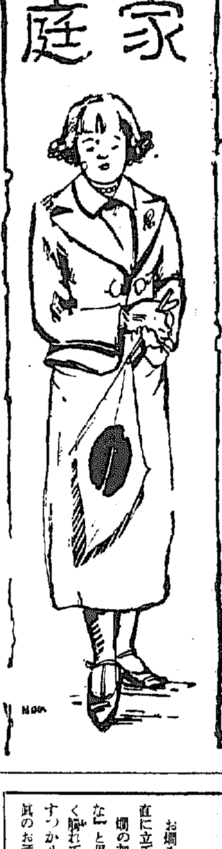
發賣本舖 順和商會

振替大阪三四五番 電話(東)五〇〇〇・五〇〇二・五〇〇三番

東京 東京市本郷區眞砂町九番地 振替東京六二八八番 電話小石川(四)一〇一〇番

大連 大連市山縣通一丁目 振替大連三七六五番 電話七六〇八番

家庭



斷髪さんも忽ち日本娘に
可愛い桃割れいかゞ

美容室

華やかなつまみの簪をさし紅白の丈長をつけ、鬢は平打にお簪を挿つた小さいつまみだけの簡單なものですが、小さい若いお孃さんには花簪も極くあつさりとして、鹿の子の若さと、さた鬢いなんでしまふが和つて桃割れには似つかはしいと云ふことを知る必要があります。殊にこの年頃の方には箱や帶が派手ですから、この程度で十分です

×

桃 割れよりは一寸大人らしく、高島田のいかつさをとけた娘らしい髪に桔梗があります。近頃の小鬘髷の流行は非に結構に調和し、近代調の化粧法もそれほど不自然に見えないので喜ばれ、かもじが少くて濟むので便利と云ふ點からも流行してゐます

學 校にお通ひの斷髪の方、短かい毛の方は一番前までは付鬢を縫つて泣かせで、どうしても結上げられなかつたものが、今は入れ毛やかもじで自由に美しく結上げられます

パーマネントをかけた方も強い髪で鏝直しをして油をなじませるとピンと毛すじが通り、意氣のやうな可愛い桃割れが結上がりました。桃割れは肩上げのとれない十五六歳から十八歳位までの少女に似つかはしいもので、殊に小柄な無邪氣な容姿の方に似合ひます

髷 は幾分つめて鬢は割合に豊かに出し、前髪は小さくして

日本娘に特賞
世界花嫁競技で

●……つい先頃パリーで萬國博覧會が開催されました折、同時美容聯盟が各國の代表の花嫁様を出場させましてそれこそ燦々たる美術が花園を展開させたものでした。

●……我が日本からも女子整容大學の山本久榮女史が見事な打かけと三枚重ねの花嫁衣裳や介添の若衣様のきものとを携へて通々晴の競技會に榮冠をかち得んものとお出かけになつたのですが都下一流のデパート出品、衣裳で某品のあり然も豪壮な衣裳と、山本女史の圓熟した技術と相俟つて日本の美を遺憾なく表現したわけで、とうとう競技に各國の並ゐる花嫁を一蹴、ガロンプレイ（特賞一等の上）を得ました

●……日本の傳統美と申しますか近來活動的な意味から盛んに洋裝がとり入れられて來て居りますがこの場合の優越の故やうなに謂つ良い傳統として永久不變性を持てつものでありうとのお話です

お燗を上手にするには

お燗を上手にするには、徳利に七分目まで酒を入れて、眞直に立てずに斜に入れる事。

燗の加減を見るには持つて指を底に當てゝ見、「あついな」と思ふ程度がよく、觸られぬほど熱かつたり、しばらく觸れてゐても平氣なやうではぬるい。徳利が空になつたらすつかりあけてから酒を入れること。燗ざましが混じるのは眞のお酒好きには失禮です

季節の景物 牡丹鍋
賢方のコツ

冬らしくなると〃山鯨あり〃の看板や張り紙が肉屋の店先に現れる、山に居る鯨のやうなものといふ意であらうか、語原不詳であるが、山鯨は猪のことである

しし肉は、味噌汁、附けやき、すき燒などいろく食べ方があるといふ、牡丹の花のやうな色をしてゐるためにかく名づけられたもの

牡丹鍋は牛鍋と同じやうなコツであるが、ちよつと違ふところは、鍋が熱くなつた時脂身を入れて十分に脂肪を鍋に布いておき、葱、白髪を炒りつける

そこで、薄口の割下（わりした）を加へ、煮上つたところで、肉を入れる、この時、大根を半月に切つたものを入れるのもいゝ、大根が入ると、肉を柔かくするといふのだが、アクが出るので、中には嫌ふ人もある

しゝの肉は煮てゐる間に、いく分か臭みを吹く氣味がある、また、土地に依つては、特有の臭ひを持つてゐるものもある、そこで、味噌煮と稱して、味噌を加へると、臭みを防ぎ、臭味を消す

見たところはよくないが、味噌煮に用ひる味噌は、こし味噌よりもつぶし味噌の方が味がいゝとされてゐる

雪はチラく、牡丹鍋で一杯など正に冬の景物であらう

正月のめでたい花 雪割草の話

雪割草も福壽草と同じく、うまのあしがた科中のいちりんさう屬の一種である、雪割草には異屬同名があるが、それはもとより別のもので、さくらさう科中のさくらさう屬の一種である

雪割草はその名の如く、春早く開く、雪を分けて花を開くといふことからこの名が出來たのである、この葉が肝臟に似てゐるところから、昔はこれが特別に肝臟の病にきくものだと信じられてゐたと云ふことである

日本では中部地方とそれ以北の地に産し、東京へは觀賞用として年々幾萬株も、佐渡や加賀の國などから年末に出すので、これが一二月には花を開いて喜ばしてくれるのである

佐渡産は花が紅紫色で、殊に美はしいから他の地方のものより貴ばれる

雪割草の變り品が流行したのも隨分古く、天保の頃には六十三種も明らかにされてゐるほどで、その主なる品名を拾つて見ると、日の出の鶴、松の雪、鶴の梅、雪かゝり、千代の赤、玉かき、紫雲などである

この多數の變り品は、今日では集めてゐる人は恐らくなからうかと思ふ、然しこの草に興味を持つ人は、福壽草でも同じだが人工採坊法を利用して種子を生ぜしめ、これを播種すれば變り品が得られるわけである

長壽の秘訣をきく
明けて百歳、益々息災！ 忙しく働き續けること

健康の國寶 :棚橋絢子女史:

鶴は千年、龜は萬年、人生七十古來稀なりといふが、七十の坂なぞはもう三十年の昔に越えてしまつて、新春めでたくも百歳の壽齢を重ねた女流教育家に棚橋絢子女史がある、百歳と云へば天保十年生れ、それから弘化、嘉永、安政、萬延、文久、元治、慶應、明治、大正、昭和と、數へなかれ年號だけでも十一代に亘つて、世の移り變りを正眼に鏡の眼で見て來られたといふのだから、まさに國寶的存在である

×

東京本郷新丸山町のお宅に女史を訪ふ、人形や飾棚などの美しく飾られた客間に待つことしばし、やがて向の唐紙が開いて、百歳の老媼といへども、さすが女性の身だしなみ

黒 紋付に赤い下着を重ね裝ひを調へた絢子女史が、附添ひの婦人に扶けられて前の座り椅子にきちんと座られた、若い！百歳とはどうしても思はれぬ皮膚のみづくしさ、高砂のお婆さんとは違つて、お髪も黒くお若い頃はさぞ美人であつたらうと思はせる端麗さ（？）をとゞめてゐるのである

先づ、『今日は先生の長壽の秘訣を伺ひにまゐりました』と云へば女史は怪訝さうに目をちくり、附添ひの婦人が笑ひ乍ら女史の耳許で飛切り大きな聲で

『先生があんまりお元氣なので、その秘訣を伺ひたいと仰有るのですよ』と通譯する

お目も耳もしつかりして居られるが、この二三年、耳だけはだいぶ遠くなられたさうである

『ホッホッホ、わたしの長生きしたわけはこの年まで毎月忙しく働きつゞけて來たからぢやがな』

『長生きするには働けばよろしいですか』

『？』

『長生きするには……』ともう一度區切つて大きな聲で質問すると、あゝ、領會が

『さう〳〵、働くことと無駄をしないこと、これが第一ぢや……これ〳〵あの箱をもつておいで』

持出された大きな箱 の中には、大小無數、一寸四方に至るまでの日本紙を張り合せた紙がうづ高く、歌などが書かれてゐる、これはみんな東京高等女學校の教へ子から來た手紙の餘白を集めたもので一束の封筒さへも出來てゐる

『先生はかうしてどんな小さな紙片でも無駄にはなさらず、生かしてお使ひになるのですよ』政府の主唱する『紙を無駄にするな』を率先して實行すること幾十年、それだけでも金鵄勳章ものである

『私の若いころな、水野南北といふ易者があつて、その人の本の中に紙と水とは人間に一日も缺かされぬ大切なものだが、しかも粗末に扱はれやすい、すべてのものは死ぬのは嫌なものだから、物の壽命を縮めるやうな人は長生きは難かしいと書かれてあつた、また、食べものなども無益に暴食するものは、短命だといふことで、私はこの教へを守つて暴食せず、いつも腹八分目を心がけて來ましたのぢや、おかげでこれまで長生きさせて貰ひました』

『先生の御親戚は皆さん長壽のすぢですね』

『ところが、さうではない、祖父 母も父母も早く亡くなつたし、兄弟も四十前でわか死した、私も若い頃はとても弱くてな、結婚後六年目でやつと一人が生れたほどぢや、私の長生きしたのは前に云つたやうな譯と良人の教へを守つたからと思ふて居ります』

最後に女史は傍らの紙にさら〳〵と次の歌を書きながした

世の中のものみな神のたまものとあだになしそあはれ世の人

これぞ銃後の女性へのまたなき教訓である、女史の日常生活は、今もなほ規律正しいもので、天氣のよい時には、毎日三十分づゝ女學校へお講義にでかけられる、家庭では、繪をかいたり、歌をよんだり、例の反古紙の廢物利用に精勵された、寸時も無駄にはされぬ

食 事は、おかゆ、やはらかい魚、野菜などすべて消化のよいものを少量、お菓子も召上る、酒も盃に一ぱいぐらゐは召上るといふ、ともあれ、何度か大病もされながら、その度にます〳〵元氣に、若いものを凌ぐ活躍は、頼もしい限りである

新年生花 若松をまにして

×千代八千代苔の蒸すまで幾千代かはらぬ常磐の緑、誠に若松は新春の床を飾るものの中の第一のものでありませう。

×初春は凡てのものが森厳さと清新さと希望に滿ち溢れて居りますので、それらの感じを助長する様に株物の選擇の上にも形を作ります上にも心掛けます。寫眞の花は苔松一本に葉牡丹二本を添へて活け上げます水盤活の勝手の生花であります。松の枯葉を綺麗に取りのぞき、後で霧吹でかけてやりますと見違へる程水々しい緑を私共に見せて呉れます（久野連峰氏）

將棋觀戰譜

第二局（圖は前回△六二銀迄の局面）

平手 △六段 山北孫三郎
先 ▲六段 寺田梅吉

▲四八銀 2
△五四歩 4
▲五六歩
△四二玉
▲六九玉 1
△八六歩 2
▲同 歩
△同 飛
▲八七歩 3
△八二飛
▲三六歩 4
△五三銀
▲五八金 12

（持時間各九時間） 累計（山北氏 二十六分 寺田氏 三十五分）

△持駒 山北氏 なし

	九	八	七	六	五	四	三	二	一
一	△香	△桂		△金	△王		△銀	△桂	△香
二		△飛		△銀			△金	△角	
三	△歩		△歩	△歩	△歩	△歩		△歩	△歩
四							△歩		
五		△歩							
六			歩					飛	
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩		歩
八		角	金						
九	香	桂	銀		玉	金	銀	桂	香

▲持駒 寺田氏 歩

壓倒的氣魄 二六飛
山北氏の策戰何れに在る

觀戰記 六段 飯塚勘一郎

寺田氏が前回の二六飛で、三四飛と歩を取る順を採用しなかつたのは、對手が殊更力戰を好む強敵であるし、先手としては敢て局面を亂戰にしなくとも、平凡に運んで置けば必ずその間に先手としての得が生じるものである、と云ふ信念の下に殊更變化を避けたものであらう、然し此し二六飛は攻撃的積極戰法で、寺田氏の内面に包藏する激しい氣持ちの現はれとでも云はうか、普通穏やかに二八飛なら、最も健全、健實な指法であるが同氏は日頃の研究に依つて充分の自信を有するのみならず、年來の好敵を迎へて、これを壓倒しやうとする強い氣持ちが現はれてゐる

先手方の三六歩では一六歩が順序で敵に一四歩と受けさせて置けば何時でも端に攻め味が殘るし

手抜きして來れば無論一五歩の突越しで、先手方自然優利の戰となる

後手の五三銀は次ぎに、六四歩から六四銀と上つて、△戰策即ち七五歩、同歩、同銀の捌きを意圖するものか？ 山北氏の意中は未だ判然としないけれど、若し右銀の早繰りを斷行しないとすれば、六四銀の手で四四角と出る手段か、或は五二金と自重する指法位で、山北氏が果してその何れを撰ぶかは頗る興味ある處である、寺田氏は敵に五三銀と「來らば來い」と云つた態度で悠然五八金と締まつた

慶北九龍浦港 漁業 運搬業 油肥製造部 石原榮商店 出張所下關市丸山町 一、八三〇ノ一 電話三七番

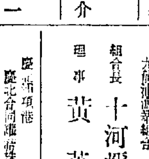
慶北九龍浦港 鯖巾着網 鮮魚運搬 油肥製造 鯖巾着慶北支部長 井上庄七 出張所 新浦、巨文島 電話五番

慶北物產株式會社 電話二九番

慶北浦項港 江口酒造 合資會社 浦項工場 神仙 文明 焼酎 仙女 電話一五五番

浦項郵便局 局長 内山田季吉 外職員一同

慶北浦項港 慶北漁業株式會社 社長 濱田惟和 支配人 朝野義雄



賀正 祈皇軍武運長久

慶北浦項港 三菱石油代理店 小倉石油代理店 六尾商店 出張所釜山、元山、清津 電話四番

慶北浦項港 株式會社 田中貢商店 電話三二番

迎日郡浦項 機船底曳網漁業 鮮魚仲買 油肥製造 中島浮吉 電話二三番

浦項醸酒株式會社 社長 文明琦 支配人 朴濟均 電話四五番

慶北浦項港 鯖巾着網漁業 姜晴錫 電話一七一番

慶北浦項港 第三區機船底曳網 第二區巾着網 漁業 尹禹炳 電話一三八番

慶北 浦項邑事務所 邑長 曾田篤一郎

慶北浦項港 機船底曳網漁業 瀬川端孫太郎 電話一五六番

南鮮合同電氣株式會社 浦項派出所

朝鮮慶北浦項港 船具漁具 塗料金物 原田一雄商店 電話五六番 振替釜山三六五三番

慶北浦項 丸三漁業株式會社 振替京城八四一五番 電話五二番

慶北迎日郡只杏面邑内 長鬐醸造場 主 姜生敏

慶北九龍浦港 株式會社 林兼商店出張所 電話四番

慶北浦項 迎日水利組合 理事 目原碩介

慶北浦項邑 邑長 正分清一

慶北浦項港 光本、飯野、三光、東和、日下、各汽船代理店 鮮海組 電話二六〇番

大阪朝日新聞 マツダランプ浦項配給所 印章 文房具 雜誌 村田太陽堂 浦項邑本町 電話二二三番

鮮魚仲買 遠藤唯男 電話一六一番

慶北浦項港 機船底曳網漁業 小田半太郎

浦項旅館組合 組合長 小山正男

慶北迎日郡只杏面新村里 大敷網漁業 鮮魚仲買運搬 油肥製造業 濱垣順一

慶北大甫港 大甫仲買組合 組合長 中島銀治 副組合長 河斗浩

慶北迎日郡東海面九萬 九萬川漁村振興會 會長 金景祚 副會長 徐秀鳳 幹事 徐生伊 同 金永源

慶北迎日郡大甫面 迎日酒造株式會社 社長 徐雨洪 支配人 吳訓根

慶北浦河漁業組合 組合長 松岡龜吉 理事 大家正

慶北浦項港 鯖巾着網 鯖巾着網 漁業 濱田惟和 礦油部 長一二三番 製氷部 三一六番 東海組 二二五番

慶北長鬐漁業組合 組合長 渡部七兵衛 理事 松坂正行

迎日郡只杏面新倉里 渡部漁場

慶尚北道迎日郡九龍浦 日本水產株式會社出張所 電話七番

慶尚北道浦項港 船具漁具、漁網、マニラロープ、ペイント塗料、漁業並仲買、油肥製造 齋藤規一商店 電話二四番 振替釜山四四九八番 鯖油肥製造工場 電話四一番

九龍浦漁業組合 組合長 十河彌三郎 理事 黃英秀

慶北浦項港 慶北合同漁業株式會社 社長 中野健太郎 專務 浦濱秋吉 支配人 坂本三朗

慶北浦項港 漁業 松村常市 電話一三八番

慶北浦項 共榮食堂 電話一一五番

慶尚北道浦項港 杉原合資會社 製材所 浦項出張所 電話長三〇番 一四六番

慶北浦項港 株式會社 林兼商店 出張所 電話二六八番

慶北浦項港 漁業組合評議員 鯖巾着網漁業 赤井彌太郎 電話一三二番

朝鮮慶北迎日郡東海面 葡萄栽培 葡萄酒醸造 ブランデー ミツワ浦項農場 電話都邱五番 場長 道會議員 仲野隆一 電話三〇三番

慶北浦項港 浦項無盡會社長 金融 浦項酒造會社長 脇村辰藏 電話三六番

慶北浦項港 邑會議員 米穀商 川口琴惠 電話一五七番

慶北浦項港 迎日水利組合長 米穀木炭商 北垣又次郎 電話一六四番

浦項警察署 署長 舘石基治 外署員一同

浦項醫友會

慶北浦項 迎日郡廳 郡守 難波照治 外職員一同

浦項公立小學校 浦項公立普通學校 職員一同

慶北浦項金曜會 浦項無盡株式會社 殖銀浦項支店 合同銀行浦項支店 浦項金融組合 迎日金融組合

銘酒 壽露 古川醸造場 慶北浦項邑 電話六番 振替釜山六番

慶北浦項港 株式會社 中谷竹三郎商店 社長 中谷竹三郎 專務 中谷清章 電話長一二二番 一四番

慶北浦項港 金融組合長 鯖巾着漁業 金斗河 電話二七九番

朝鮮漁業株式會社 大冬背出張所 出張所長 西村源一 電話大甫四番 電話長一七九番

慶北浦項港 道會議員 漁業 海產物貿易 油肥製造 製函業 金東德 合資會社 金東商店 電話長一一三番 八番

朝鮮慶北浦項港 浦項運輸株式會社 社長 田中貢 專務 金龍周 支配人 岩本陸一

慶北浦項 醬油醸造業 各種苗商 大内治郎 電話一〇五番

慶北浦項港 朝鮮第三區機船底曳網漁業水組合長 漁業 岡部與一 電話二一八番

浦項税務署 電話三四番

浦項酒造組合 電話二五二番

慶北迎日郡浦項 巾着網漁業 鯖油肥製造業 東海組 出張所 下關市丸山町 電話長二三九六番

道會議員 私立永興學校長 金龍周 慶北浦項邑

浦項水交會 慶尚北道水産會 慶北漁業組合聯合會 迎日漁業組合 第三區機船底曳漁業水産組合

慶北浦項港 浦項釀造株式會社 社長 田中貢 支配人 小川又芳 電話一三三番

慶北浦項港 浦濱罐詰工場 主 浦濱秋吉 電話長五一番

ライオン齒磨

賀正

戰勝めでたき新春を迎へ、恭しく各位の賀壽を奉獻候
顧れば客年中は弊社製品に對し、格別なる御愛顧を給はり御庇蔭の下、社運一層の驚異的飛躍を示し居り候段、感銘至切に奉存候
今や社を擧げて至誠一貫、彌〻製品の革新的向上に努め販路の擴大に伴ひて、先には東京・大阪兩工場の増設を完了し、近くは東京營業所を擴張する等、諸機能の躍進を實現し、只管、御販賣店並に御愛用各位の御恩誼に酬いるべく精進罷在候間、何卒本年も倍舊の御支援を給はり度御祝詞と共に懇願如斯御座候

拜具

昭和十三年元旦

ライオン齒磨本舖
株式會社小林商店
本店營業所　東京市蒲田區東蒲田一丁目
大阪支店　大阪市東區博勞町三丁目
名古屋支店　名古屋市西區桑名町四丁目

健康日本に此齒磨

科學的有效成分により、
齒と齦の抵抗力を強くする
唯一のライオン齒磨!
擧國一致、ムシ齒撲滅の爲、
寢る前にもライオン齒磨!

東京本店新營業所 (東京市蒲田)

ライオン齒磨東京工場 (東京市本所區うまや橋際)